

| | |
|--|-----|
| 1. 弾性設計用地震動 S_d | 201 |
| 2. 既設の耐震補強工事 | 203 |
| 3. 耐震評価手法 | 214 |
| 4. 耐震評価結果一覧 | 227 |
| 5. 機器・配管系構造概要 | 262 |
| 6. 建物・構築物の評価手法（応力平均化） | 271 |
| 7. 防潮堤の構造 | 273 |
| 8. 屋外アクセスルートの補強対策 | 281 |
| 9. 基準地震動 S_s-D1 の応答解析と東日本大震災時の観測記録との比較 | 284 |
| 10. 液状化に関する考慮 | 291 |
| 11. 地震動のエネルギースペクトル等に関する耐震設計上の考慮 | 301 |
| 12. 構築物、系統及び機器への入力地震動の評価方法及び保守性 | 306 |
| 13. 重大事故等対処設備（サポート系を含む）に係る耐震設計方針 | 321 |
| 14. 緊急時対策所に耐震設計を選択したことの安全上の考え方並びに施設内の設備・機器及び人員等に係る耐震上の評価及び対策 | 324 |
| 15. 使用済燃料乾式貯蔵施設の耐震評価における具体的な応答解析手法 | 337 |
| 16. 耐震評価における具体的な保守性及び許容値等に対する裕度 | 341 |
| 17. PHB(Post-Head-bar)工法の具体 | 349 |
| 18. 加振試験に係る具体的な試験条件とその保守性 | 351 |

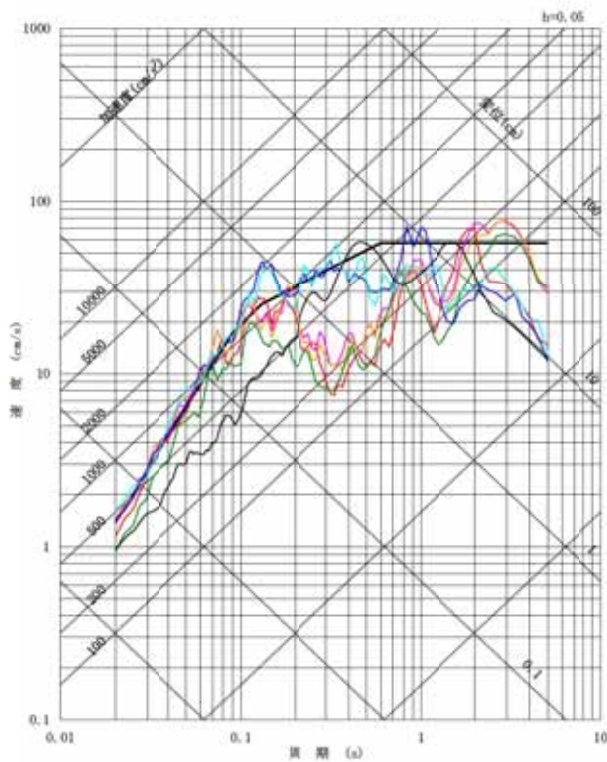
| | |
|---|-----|
| 19. 安全機能を有する構築物, 系統及び機器に関する耐震設計方針(重要度分類等含む) | 361 |
| 20. 機器・配管等の具体的な耐震補強対策等 | 370 |
| 21. 外部電源の送電線・送電鉄塔・開閉所に対する地震対策, ガス絶縁開閉装置の耐震性 | 380 |
| 22. ブローアウトパネルに係る加振試験の再試験結果 | 388 |

1. 弾性設計用地震動Sd (1/2)

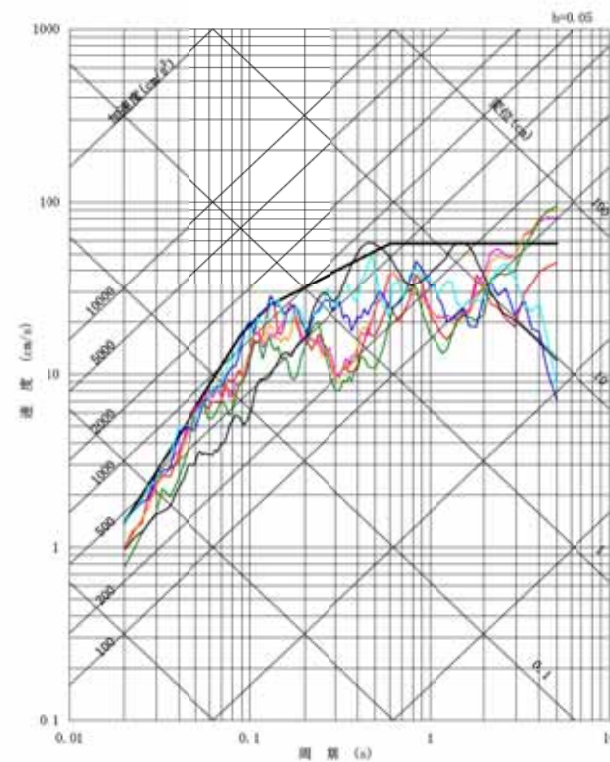


○ 弾性設計用地震動Sdの応答スペクトル

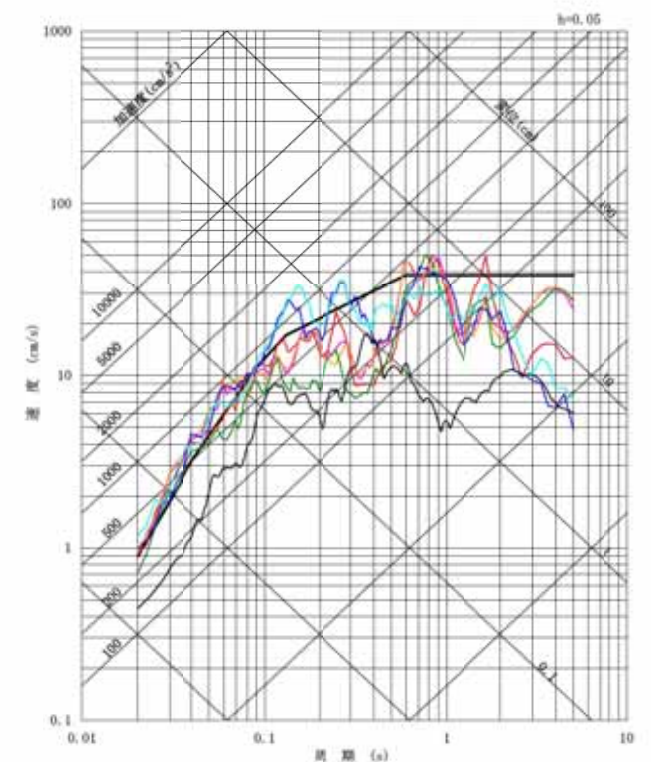
- Sd-D1
- Sd-11
- Sd-12
- Sd-13
- Sd-14
- Sd-21
- Sd-22
- Sd-31



NS成分



EW成分

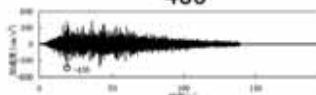
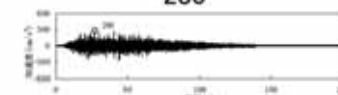
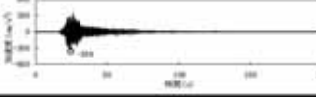
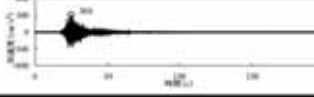
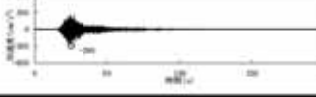
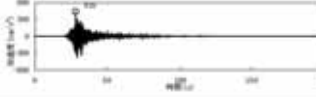
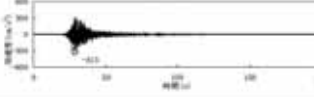
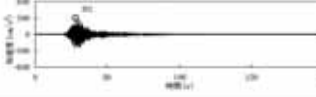
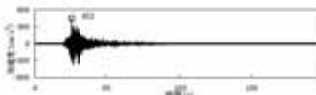

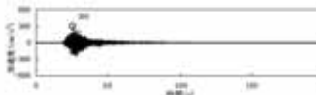
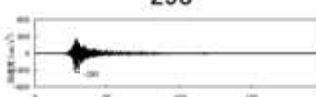
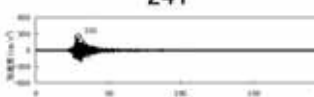
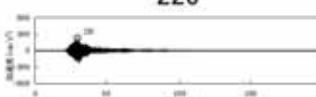
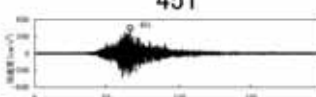
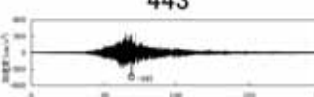
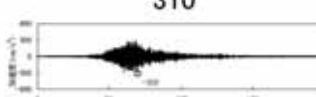
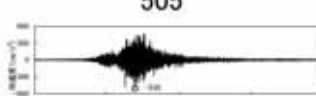
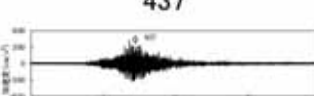
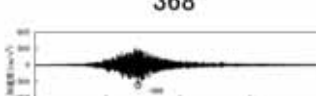
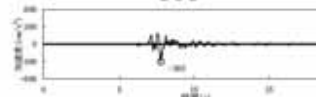
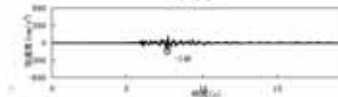


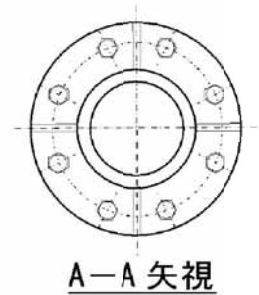
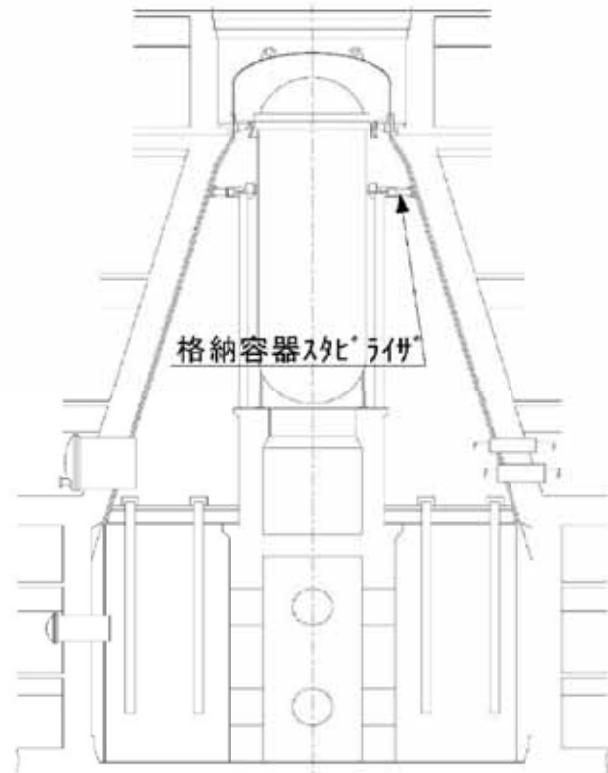
UD成分

1. 弾性設計用地震動Sd (2/2)



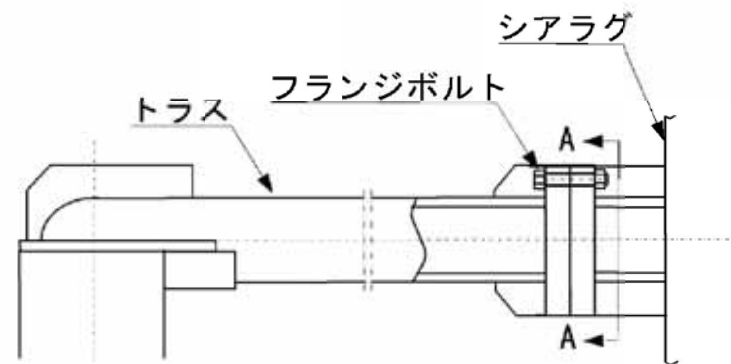
○ 弾性設計用地震動Sdの最大加速度の一覧

| 弾性設計用地震動 | 最大加速度 (cm/s ²) | | |
|----------|---|--|--|
| | NS成分 | EW成分 | UD成分 |
| Sd-D1 | 435  | | 280  |
| Sd-11 | 359  | 309  | 290  |
| Sd-12 | 435  | 313  | 301  |
| Sd-13 | 452  | 309  | 300  |
| Sd-14 | 293  | 241  | 226  |
| Sd-21 | 451  | 443  | 310  |
| Sd-22 | 505  | 437  | 368  |
| Sd-31 | 305  | | 140  |



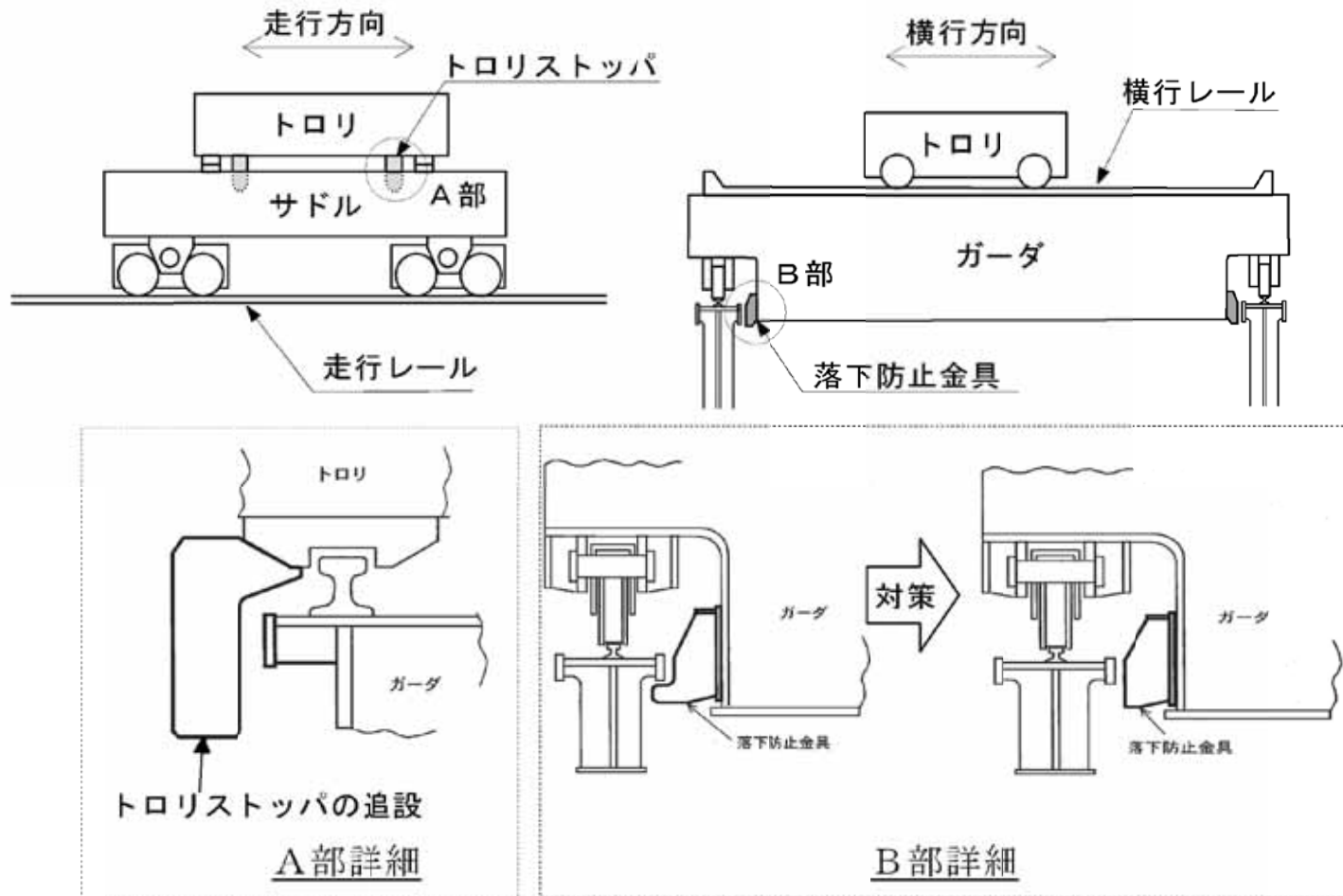
補強項目

- ・ボルト材質を SCM3 から SNB24-1
に変更

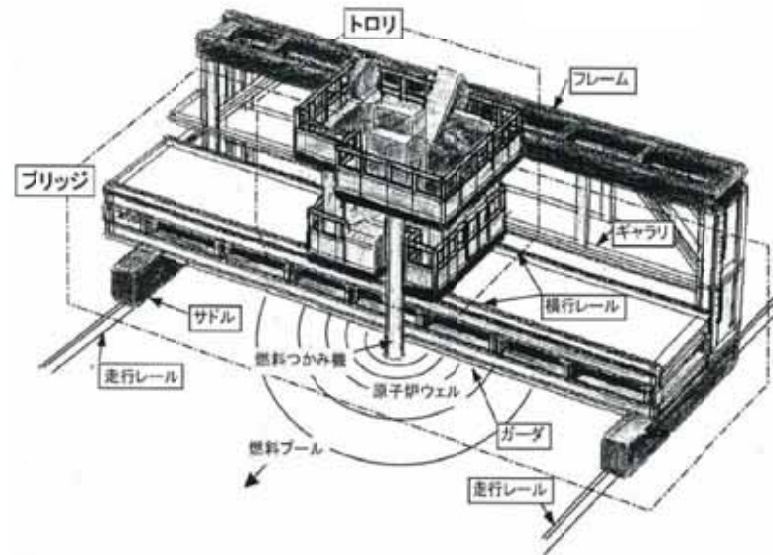
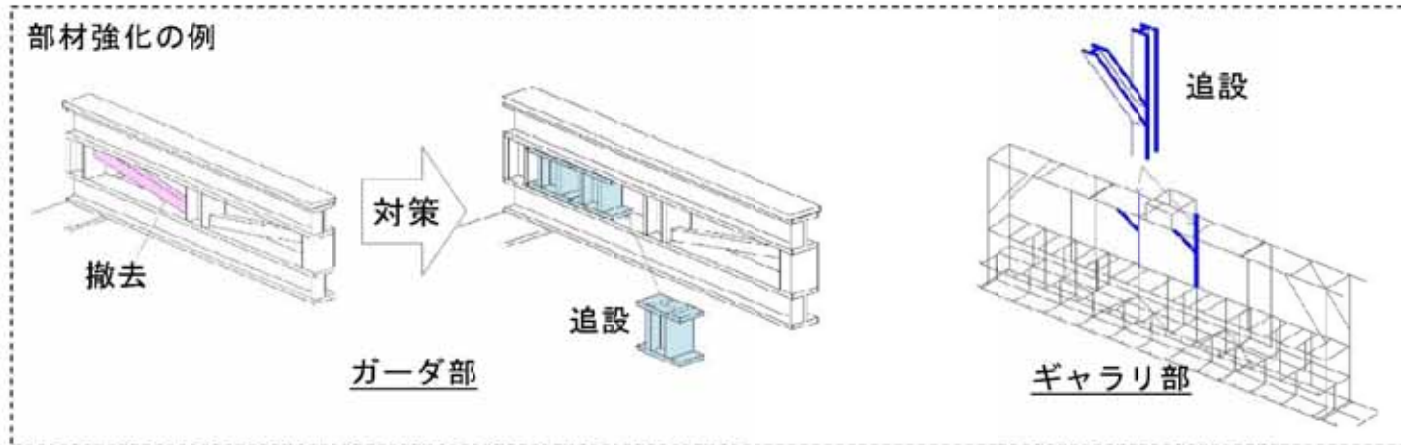


格納容器スタビライザ構造概要図

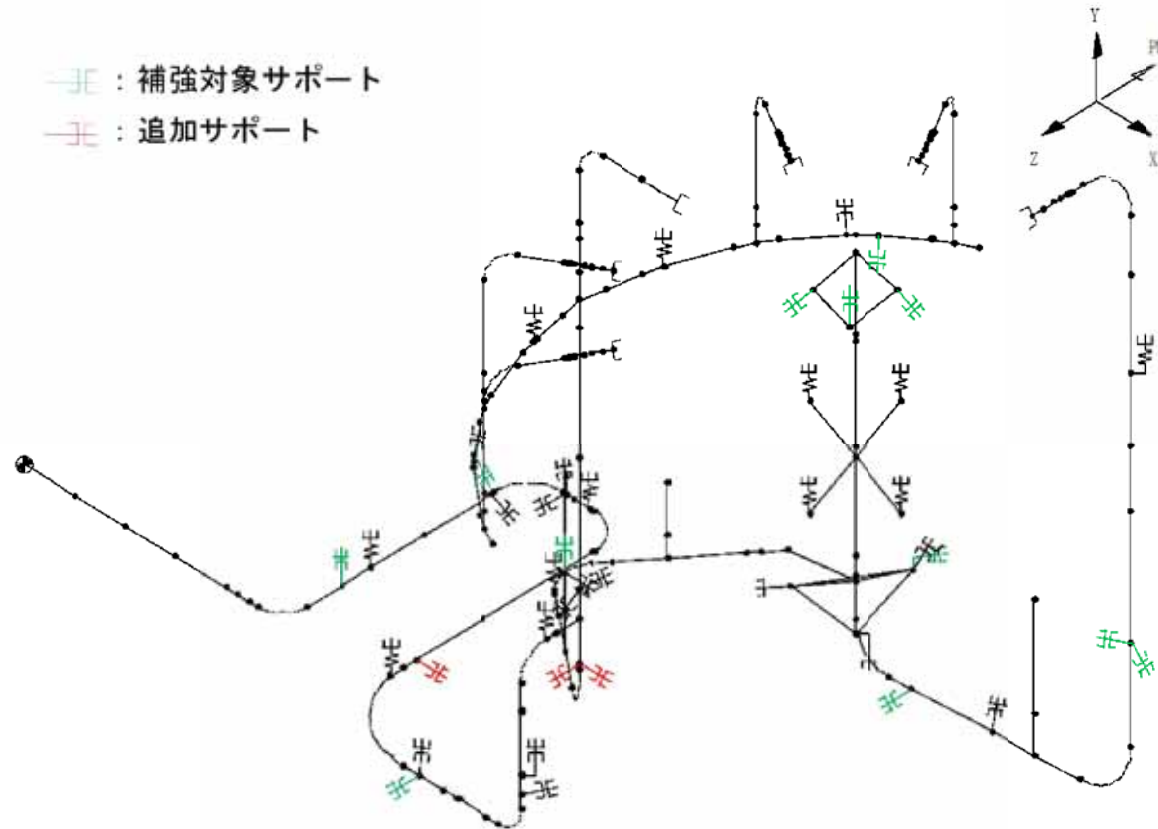
格納容器スタビライザの耐震補強概要図



原子炉建屋クレーンの耐震補強概要図

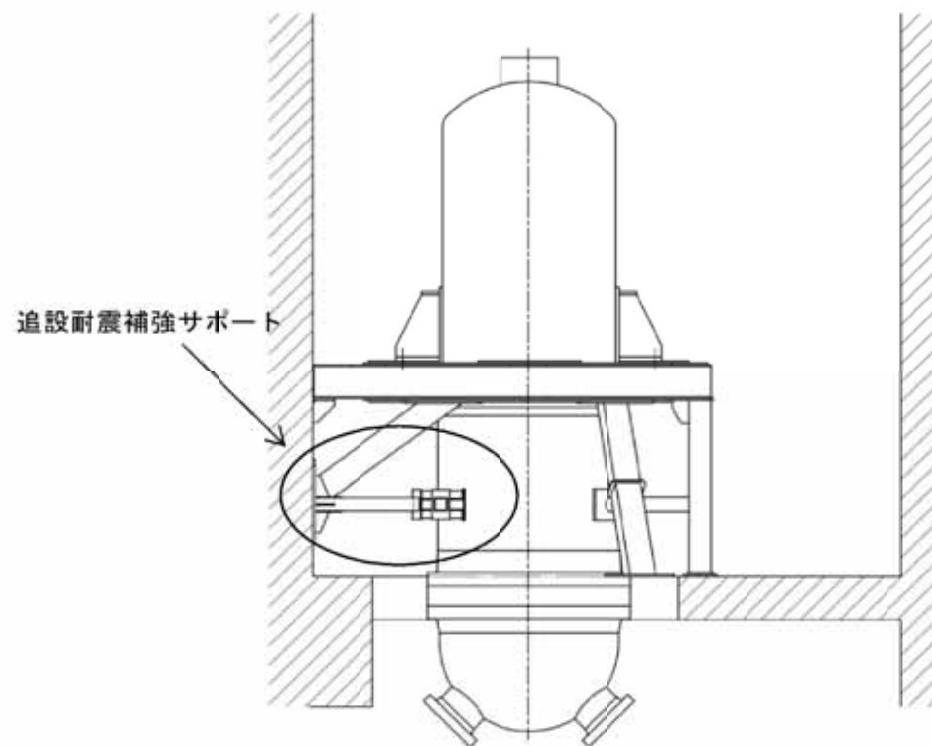


燃料取替機の耐震補強概要図

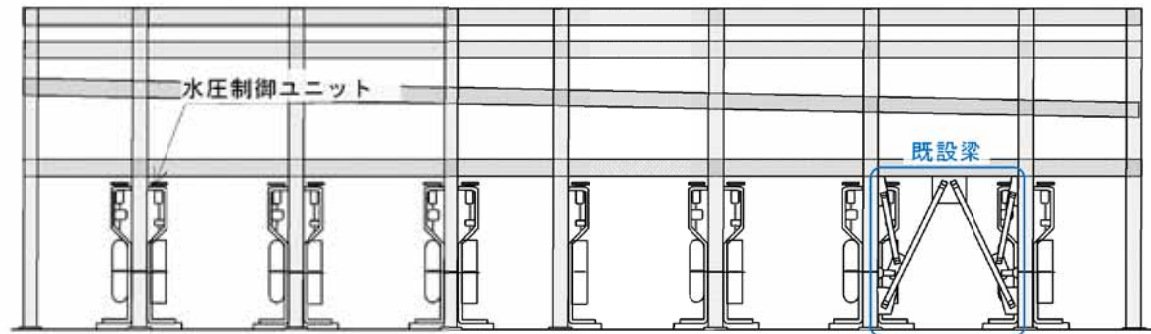


原子炉再循環系配管の耐震補強の例

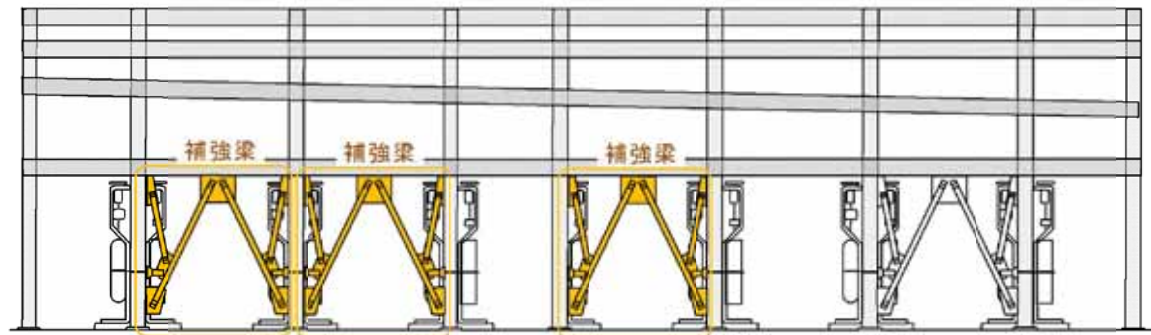
配管系の耐震補強概要図



残留熱除去系熱交換器の耐震補強概要図

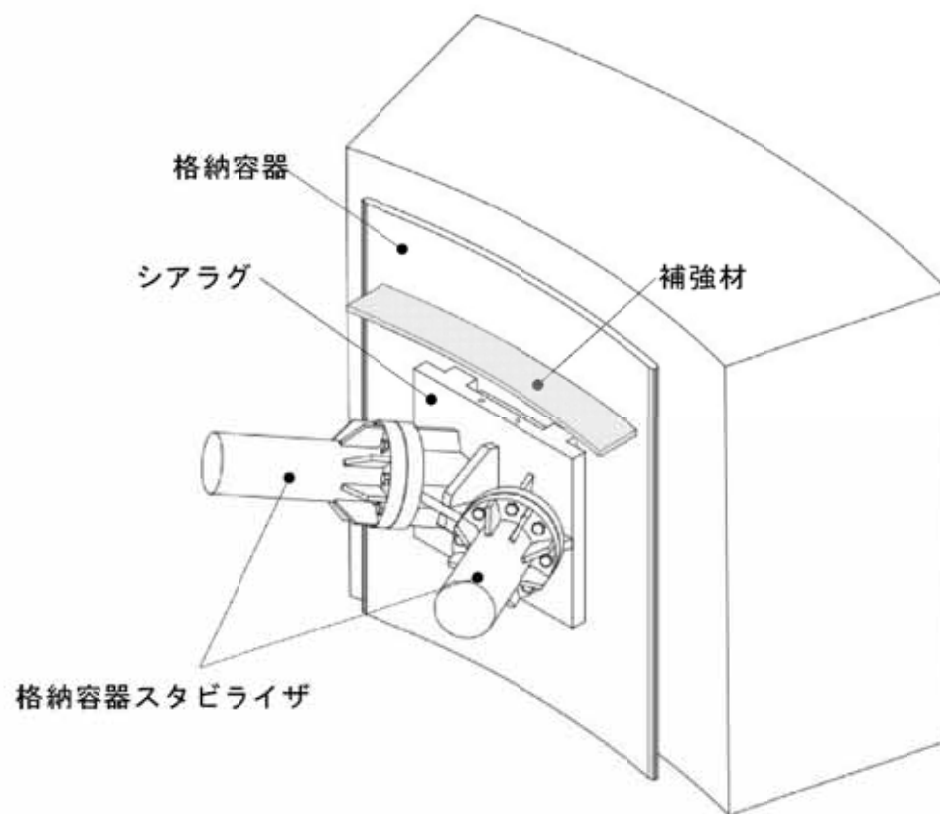


現行構造

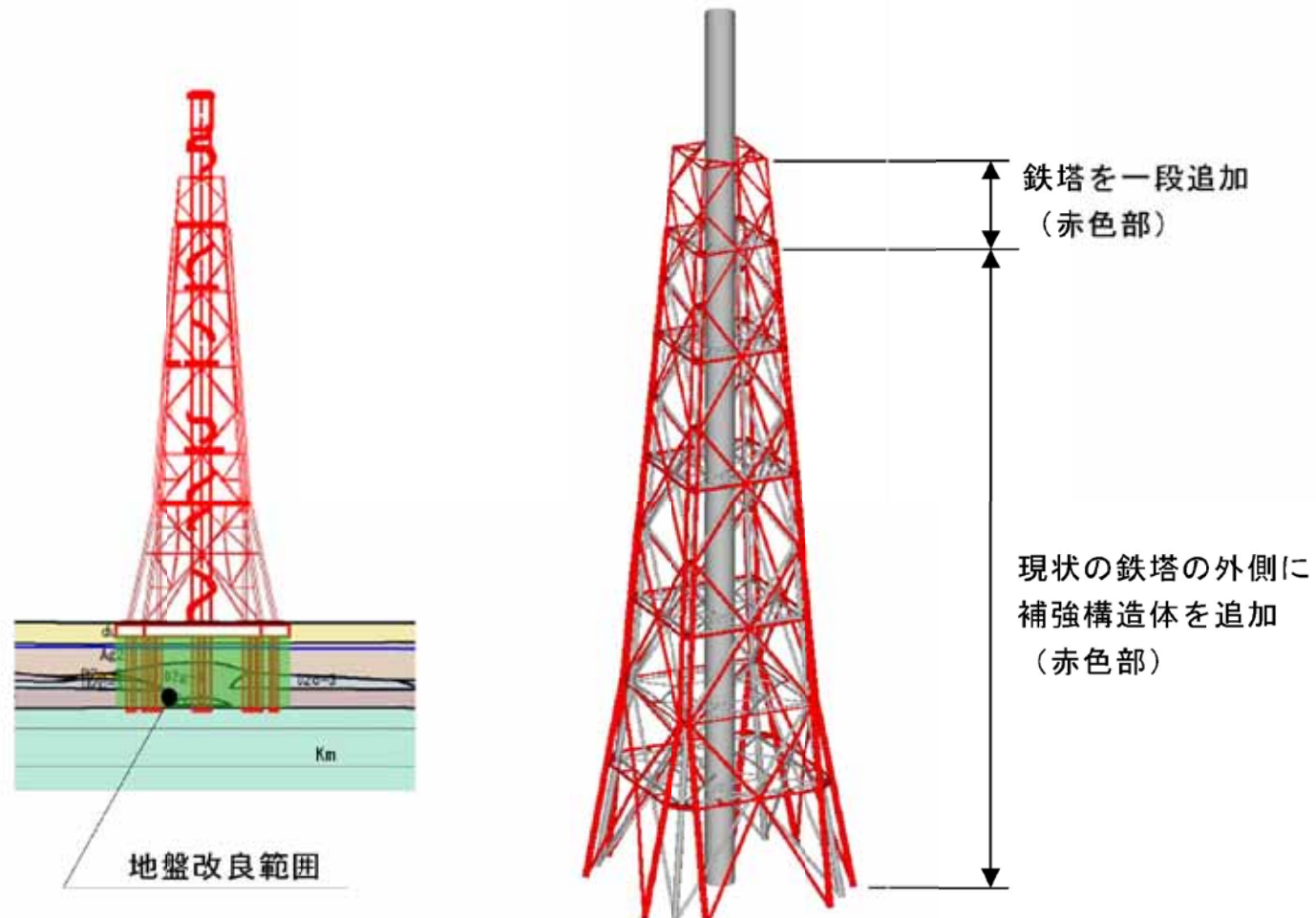


補強構造

水圧制御ユニットの耐震補強概要図

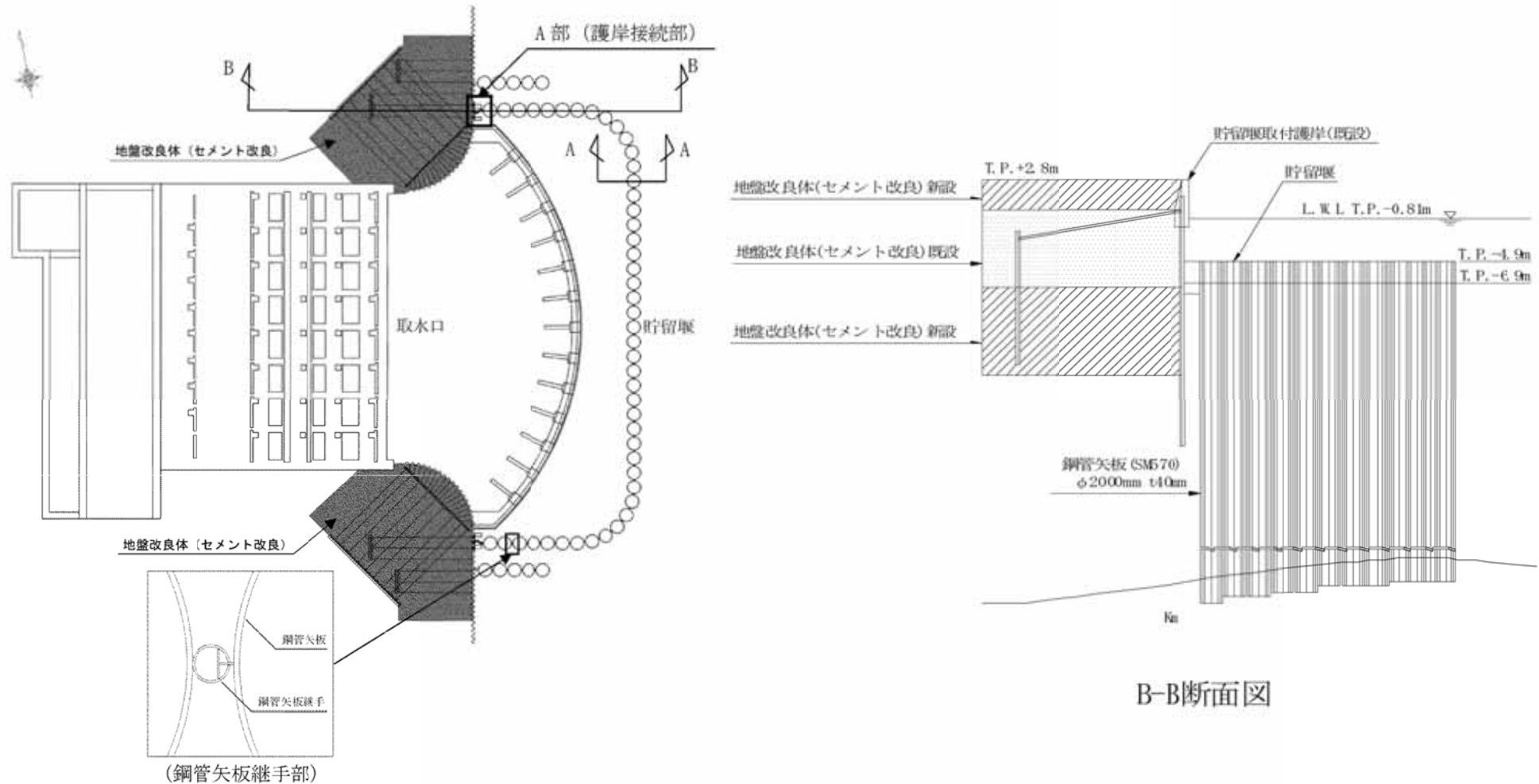


格納容器シアラグ部の耐震補強概要図



排気筒の耐震補強概要図

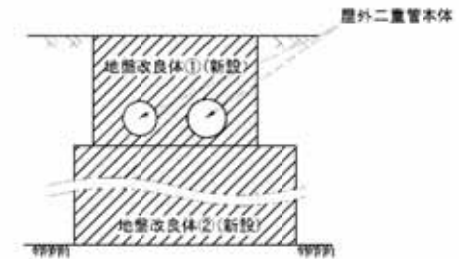
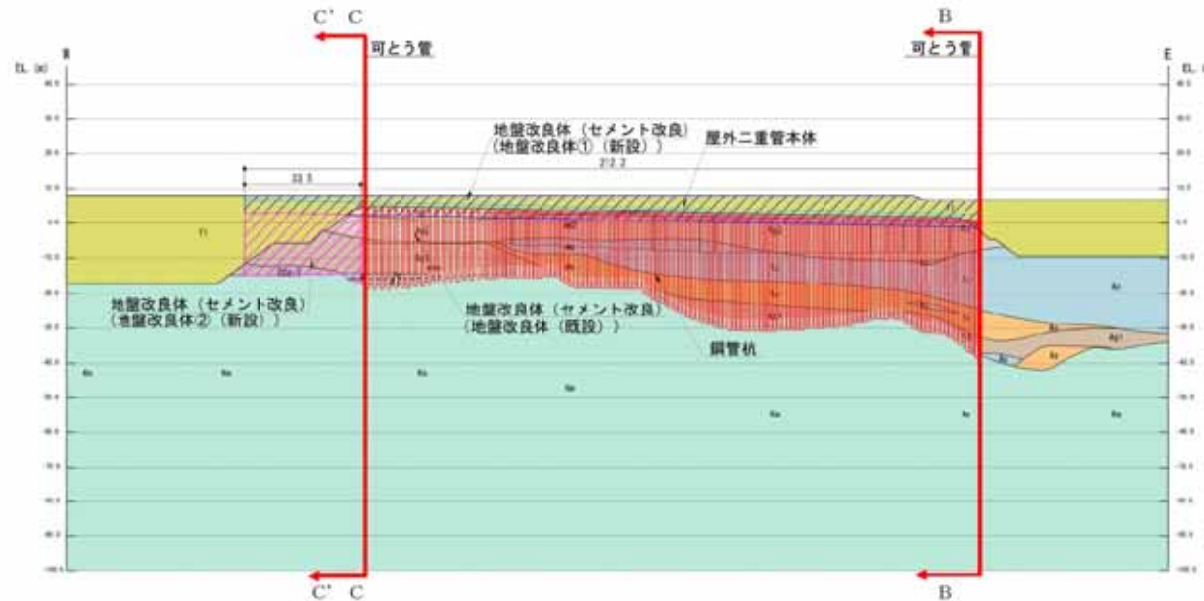
2. 既設の耐震補強工事 (9/11)



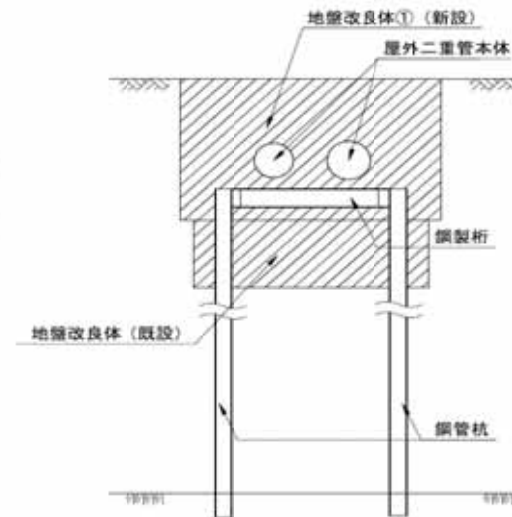
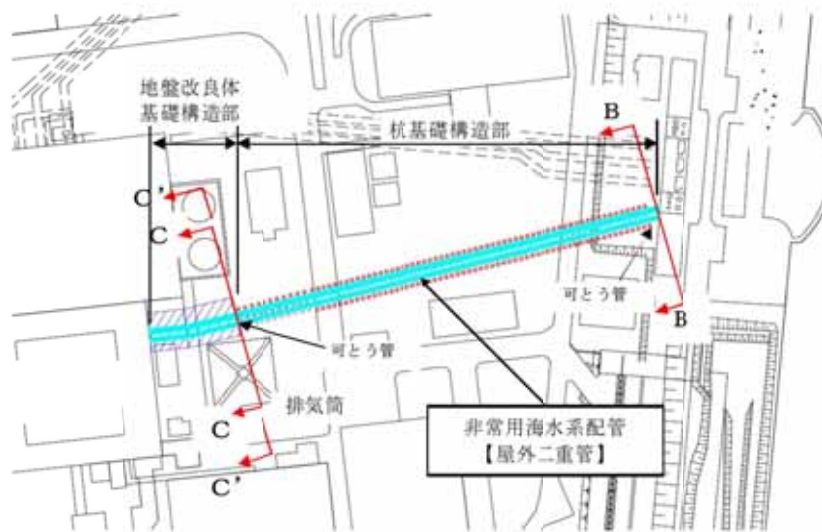
B-B断面図

貯留堰取付護岸の耐震補強概要図

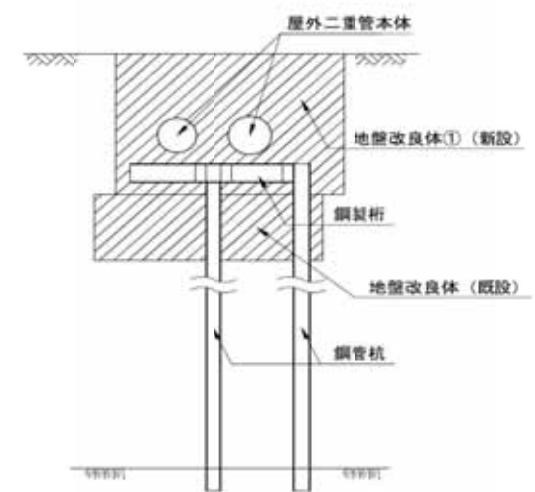
2. 既設の耐震補強工事 (10/11)



C'-C' 断面 (地盤改良体基礎構造部)



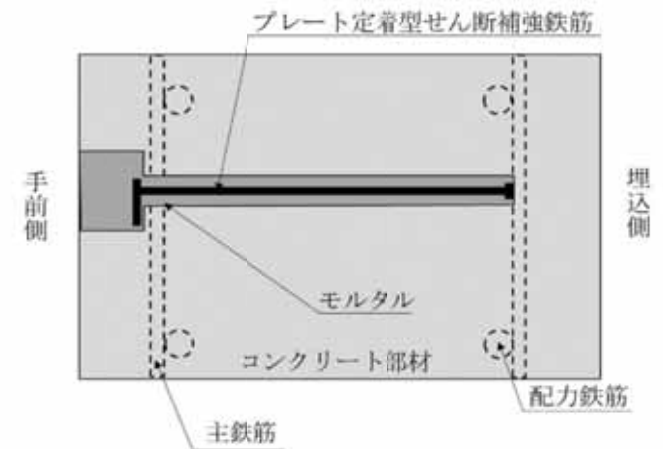
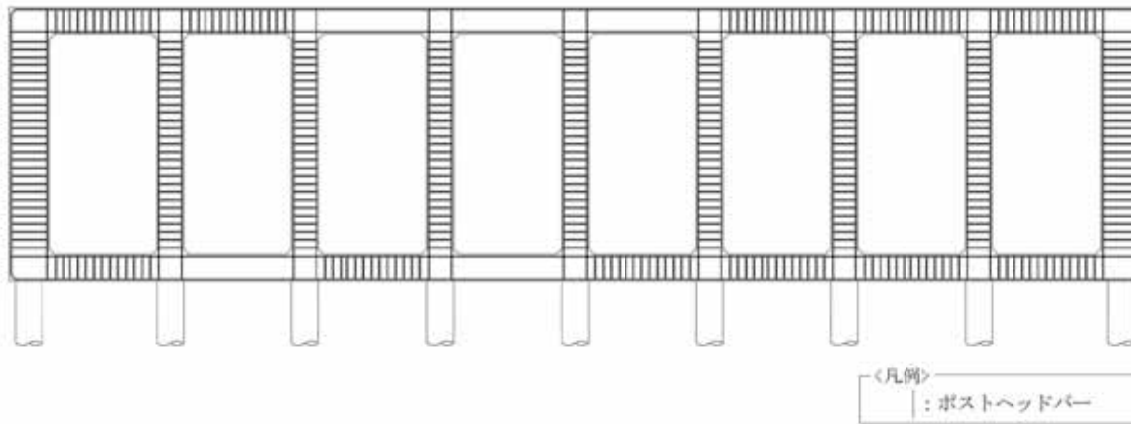
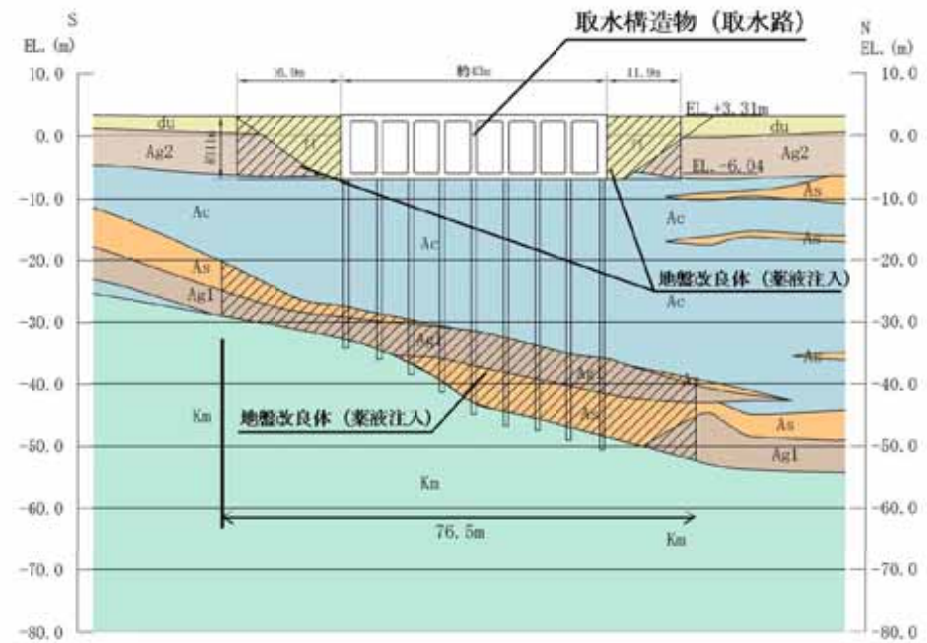
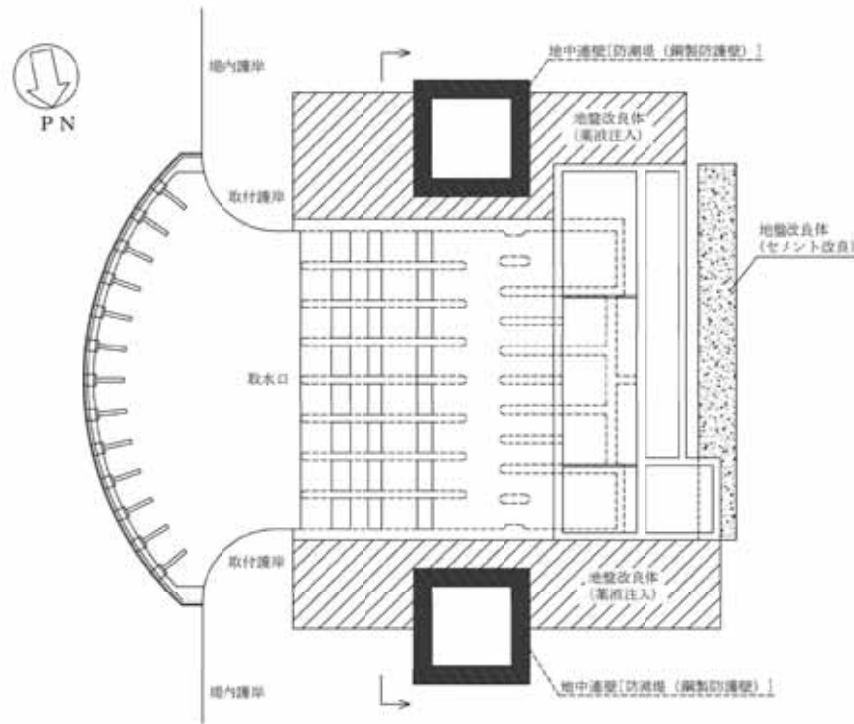
B-B断面 (杭基礎構造部)



C-C断面 (杭基礎構造部)

屋外二重管の耐震補強概要図

2. 既設の耐震補強工事 (11/11)



取水構造物の耐震補強概要図

PHb工法の概要

3. 耐震評価手法 ① 機器・配管系 (1/4)

機器・配管系については、基準地震動 S_s に対し、**構造強度評価により強度的に問題がないことを確認**するとともに、地震時に動的機能が求められる設備について**動的機能が維持できることを確認**する。

○ 構造強度評価

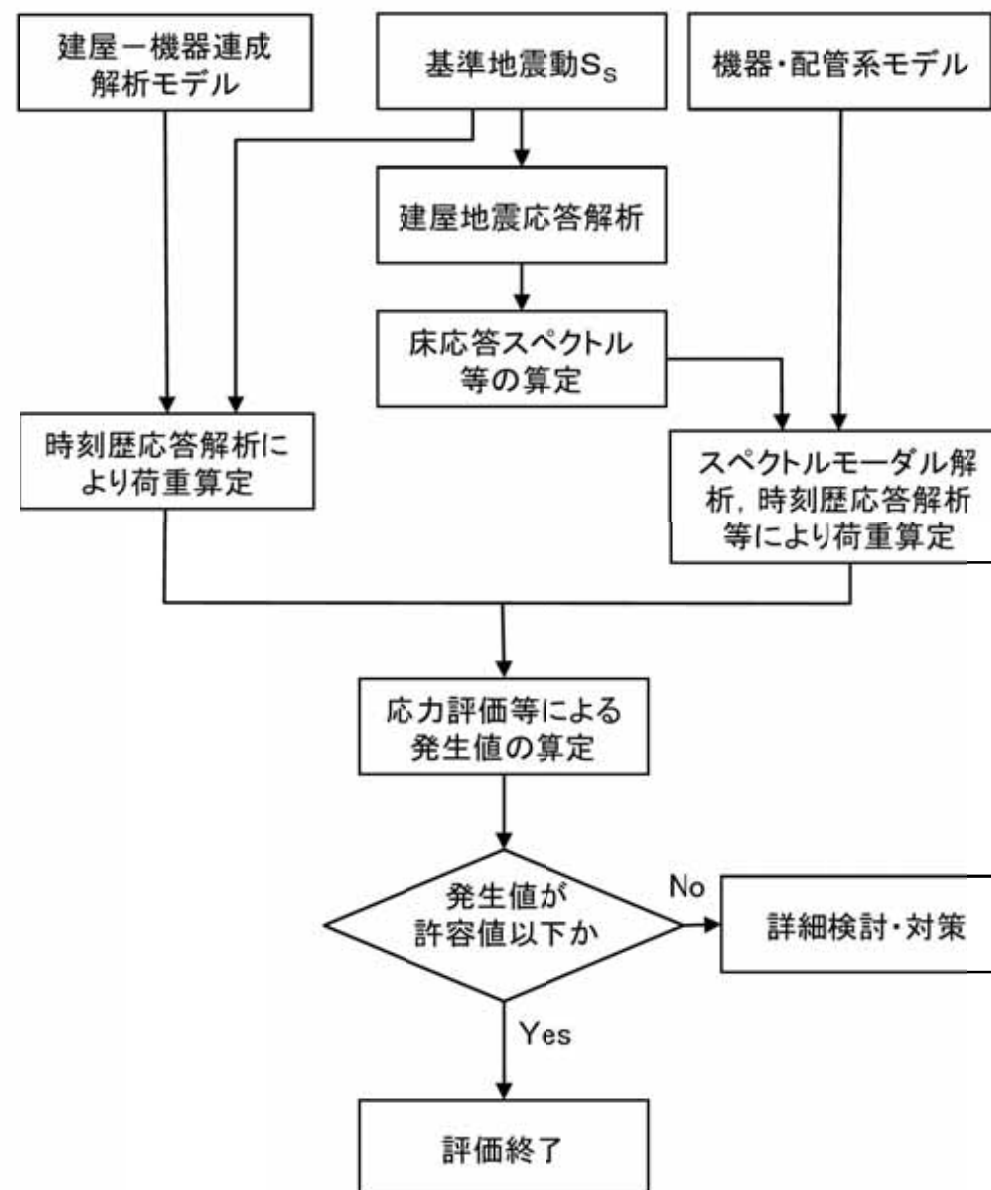
構造強度に関する評価は、以下に示す解析法により発生値を算定し、許容値と比較する。

- (1) スペクトルモーダル解析法
- (2) 時刻歴応答解析法
- (3) 定式化された評価式を用いた解析法(床置機器等)

機器・配管系の地震応答解析モデルは、その振動特性に応じて、代表的な振動モードが表現でき、応力評価等に用いる地震荷重等を算定できるものを使用する。

また、解析モデルは既往評価で用いられたもののほか、有限要素法など実績がある手法によるモデルを使用する。

構造強度評価の手順



3. 耐震評価手法 ① 機器・配管系 (2/4)



○ 動的機能維持評価

動的機能維持に関する評価は、以下に示す機能確認済加速度との比較等により実施する。

(1) 機能確認済加速度との比較

基準地震動 S_S による**評価対象機器の応答加速度を求め、その加速度が機能確認済加速度以下であることを確認する。**

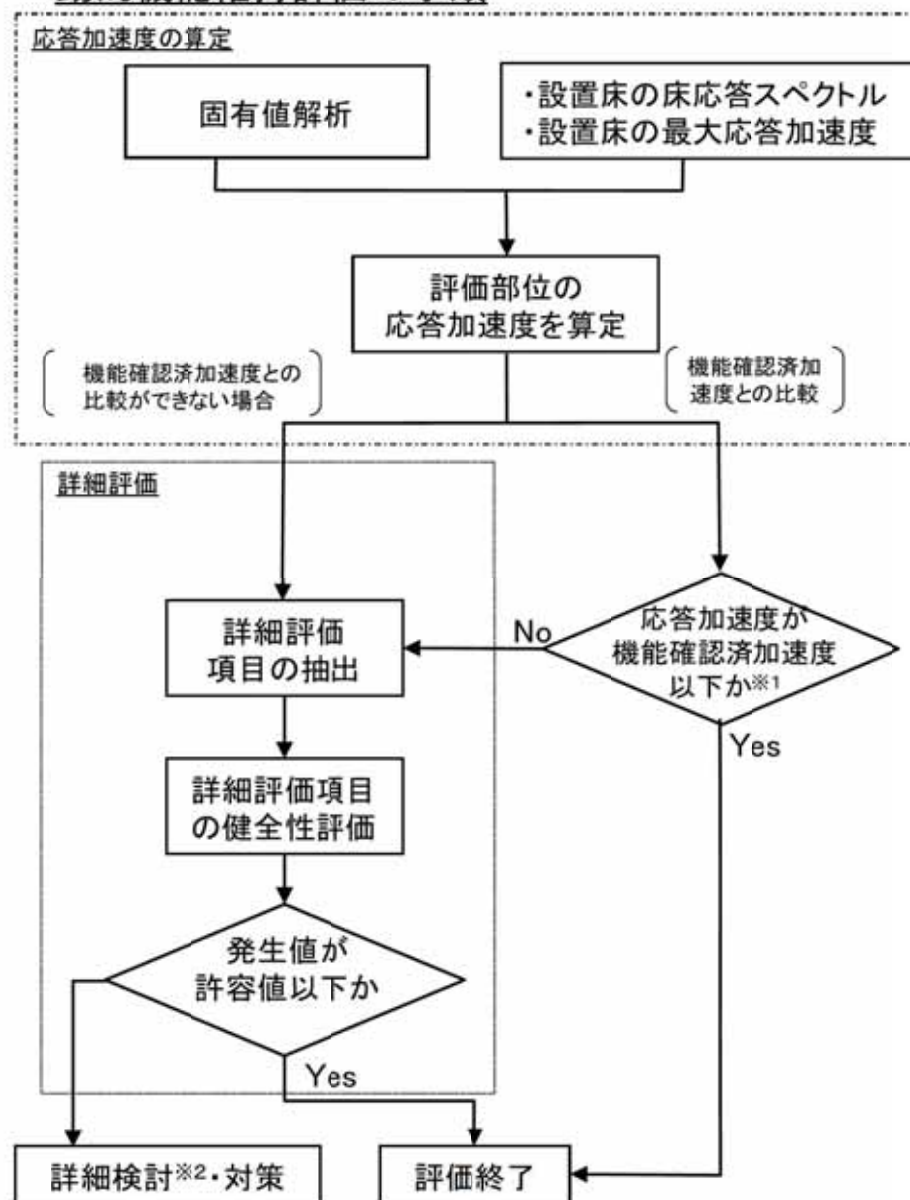
機能確認済加速度とは、立形ポンプ、横形ポンプ及びポンプ駆動用タービン等、機種ごとに試験あるいは解析により動的機能維持が確認された加速度である。

(2) 詳細評価

機能確認済加速度の設定されていない機器、基準地震動 S_S による応答加速度が機能確認済加速度を上回る機器については、**規格基準をもとに詳細評価**を行う。

詳細評価は動的機能維持を確認するうえで評価が必要となる項目を抽出し、**対象部位ごとの構造強度評価又は動的機能維持評価を行い、発生値が許容値を満足していることを確認する。**

動的機能維持評価の手順



*1 制御棒の地震時挿入性については、基準地震動 S_S による燃料集合体相対変位を用いて評価する。

3. 耐震評価手法 ① 機器・配管系 (3/4)

○ 代表的な機器・配管系における地震応答解析モデルについて、以下の方針に基づき構築する。

- (a) 原子炉格納容器, 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物
 原子炉格納容器, 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物は, 建物質質量に対しその質量が比較的大きく, また支持構造上からも原子炉建屋による影響が無視できないため, 原子炉建屋と連成させた解析モデルを用いる。原子炉格納容器, 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物は, 多質点系モデルに置換し, 各構造物を結合するスタビライザ等は等価なばねに置換する。
- (b) 一般機器
 容器, 熱交換器等の一般の機器は, 機器本体及び支持構造物の剛性をそれぞれ考慮し, 原則として重心位置に質量を集中させた1質点系モデルに置換する。ただし, 振動特性の観点から質量分布, 剛性変化等を考慮する方が適切と考えられる構造の場合は, 多質点系モデルに置換する。
- (c) 配管
 配管は, その振動性状を適切に考慮するため, 3次元多質点はりモデルに置換する。

機器・配管系の地震応答解析モデルの例を以下に示す。

| | 原子炉格納容器, 原子炉圧力容器 及び圧力容器内部構造物 | 一般機器 (立形ポンプの例) | 配管 |
|--------|---------------------------------|-------------------|----|
| 解析モデル※ | | | |

※水平方向を代表として記載

3. 耐震評価手法 ① 機器・配管系 (4/4)



○ 動的機能維持評価における健全性確認のため実施した試験の例を示す。

| | 回転機器 (常設高圧代替注水系ポンプ) | 可搬型設備 (可搬型代替低圧電源車) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|---|------|----|------|-------------------|---|-------------------|---|-----------|---|------|-----------------------|---|----|------------|-----------|---|------|-----|---|------|-----|---|------|-----|---|----|------|----|------|--------------------|---|--------|--------------------------------|---|----------------------|---|-------------------|---|
| 確認事項 | <p>①加振試験後の動作試験として異常がないこと、分解点検にて各部品に損傷がないことを確認する。</p> <p>②加振波の最大加速度が機器据え付けフロアの評価用加速度を包絡していることを確認する。</p> | <p>①加振試験時に可搬型代替低圧電源車が転送しないこと及び加振試験後の機能維持に問題ないことを確認する。</p> <p>②加振波の床応答スペクトルが保管場所の床応答スペクトルを包絡していることを確認する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 確認結果 | <p>①動作試験及び分解点検にて問題ないことを確認した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>確認項目</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">動作試験</td> <td>・定格流量が設計揚程以内であること</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>・正常にトリップ機能が動作すること</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>・漏えいのないこと</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>分解点検</td> <td>・外観目視点検を行い、部品に損傷のないこと</td> <td>良</td> </tr> </tbody> </table> <p>②最大加速度が評価用加速度を包絡していることを確認した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>評価用加速度 (G)</th> <th>最大加速度 (G)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X</td> <td>0.72</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>0.72</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>Z</td> <td>0.75</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> | 区分 | 確認項目 | 結果 | 動作試験 | ・定格流量が設計揚程以内であること | 良 | ・正常にトリップ機能が動作すること | 良 | ・漏えいのないこと | 良 | 分解点検 | ・外観目視点検を行い、部品に損傷のないこと | 良 | 方向 | 評価用加速度 (G) | 最大加速度 (G) | X | 0.72 | 3.0 | Y | 0.72 | 3.0 | Z | 0.75 | 4.0 | <p>①転倒しないこと及び機能維持を確認した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>確認項目</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転倒確認</td> <td>・加振試験時に電源車が転倒しないこと</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">機能維持確認</td> <td>・外観点検を行い、機能に影響する損傷や燃料漏えい等がないこと</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>・電源車の電氣的機能が維持されていること</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>・電源車の自走機能に問題がないこと</td> <td>良</td> </tr> </tbody> </table> <p>②加振波の床応答スペクトルが保管場所の床応答スペクトルを包絡していることを確認した。</p> | 区分 | 確認項目 | 結果 | 転倒確認 | ・加振試験時に電源車が転倒しないこと | 良 | 機能維持確認 | ・外観点検を行い、機能に影響する損傷や燃料漏えい等がないこと | 良 | ・電源車の電氣的機能が維持されていること | 良 | ・電源車の自走機能に問題がないこと | 良 |
| | 区分 | 確認項目 | 結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 動作試験 | ・定格流量が設計揚程以内であること | 良 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・正常にトリップ機能が動作すること | 良 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・漏えいのないこと | 良 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分解点検 | ・外観目視点検を行い、部品に損傷のないこと | 良 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方向 | 評価用加速度 (G) | 最大加速度 (G) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| X | 0.72 | 3.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Y | 0.72 | 3.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Z | 0.75 | 4.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | 確認項目 | 結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 転倒確認 | ・加振試験時に電源車が転倒しないこと | 良 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機能維持確認 | ・外観点検を行い、機能に影響する損傷や燃料漏えい等がないこと | 良 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・電源車の電氣的機能が維持されていること | 良 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・電源車の自走機能に問題がないこと | 良 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 加振試験状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3. 耐震評価手法 ② 建物・構築物 (1/3)



建物・構築物は、以下の評価方法に基づき耐震性評価を実施する。

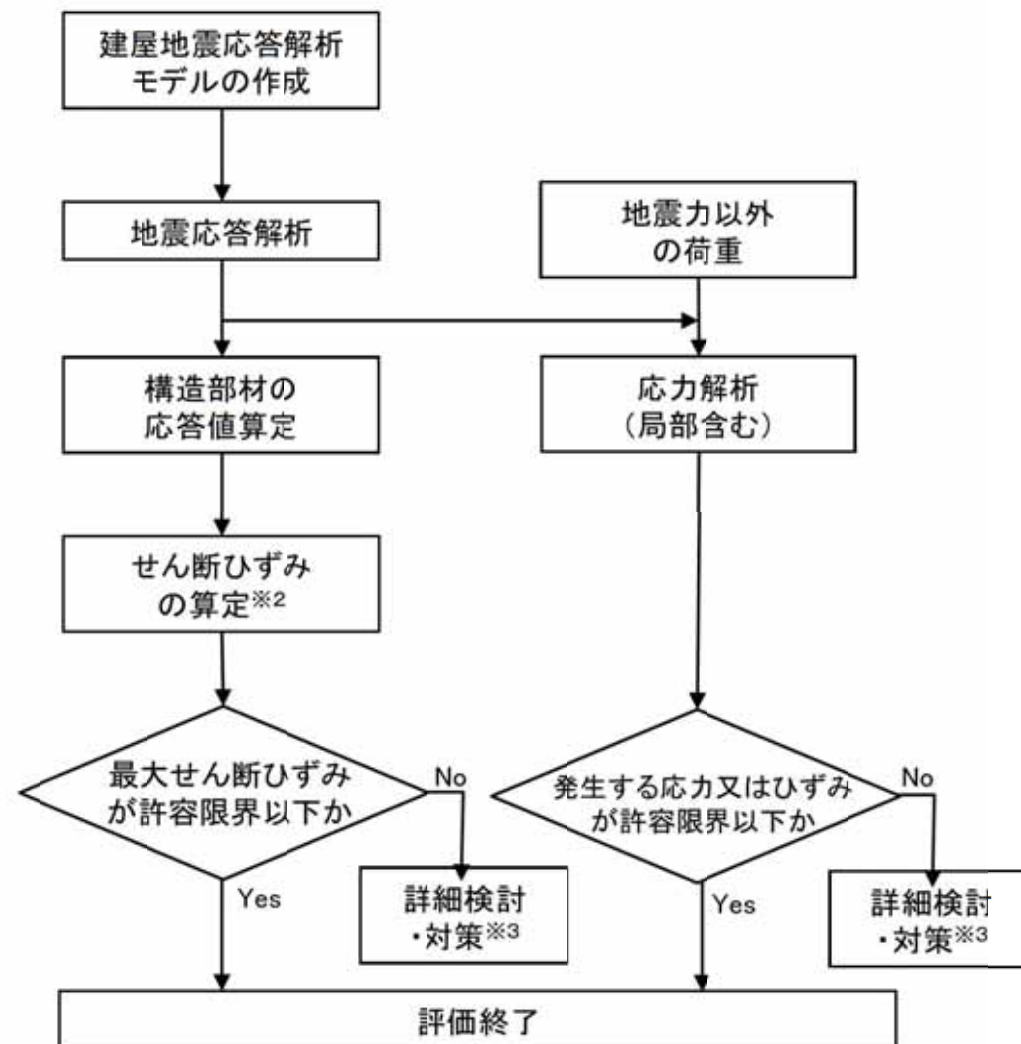
○ 地震応答解析による評価

建物・構築物は、原則として、構造物全体として変形能力を有しているとの観点から、**主たる耐震要素である耐震壁の最大応答せん断ひずみが許容限界を超えないことを確認**する。評価は、各建屋の構造的な特徴を踏まえ、振動性状を適切に考慮した質点系モデルによる地震応答解析を基本とする。

○ 応力解析による評価

構造物全体の挙動に加え、局所の応力評価が必要な部位については、**有限要素解析による発生応力またはひずみを算定し、許容限界との比較**を行う。**局所の応力評価が必要な部位は、Sクラス施設の各部位及びSクラス施設の間接支持構造物の基礎並びに鉛直方向の地震力の影響を強く受けるおそれのある屋根トラス**とする。また、3次元応答性状の影響、水平2方向及び鉛直方向の地震力の組合せに対する影響を踏まえ、必要に応じて他の部位についても実施する。

基準地震動 S_g による評価フロー※1



*1 保有水平耐力が必要保有水平耐力以上であることも確認する。

*2 せん断ひずみに加え、接地圧も評価し、接地圧が定める許容限界以下であることも確認する。

*3 検討の内容に応じて必要なプロセスに戻る。

3. 耐震評価手法 ② 建物・構築物 (2/3)

○ 代表的な建物・構築物について、原子炉建屋及び緊急時対策所建屋を例に構造概要を示す。

| | 原子炉建屋 | 緊急時対策所建屋 |
|-------|---|---|
| 構造概要 | 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) | 鉄筋コンクリート造 |
| 基礎 | 厚さ:約5m (人工岩盤を介して、砂質泥岩である久米層に岩着) | 厚さ:2.5m(一部2.2m及び5.7m) (場所打ち鋼管コンクリート杭を介して、砂質泥岩である久米層に岩着) |
| 平面形状 | | 約38m(南北方向)×約36m(東西方向) |
| 高さ | | 基礎版底面から約30m |
| 図面 | <p>平面図 断面図</p> | <p>杭仕様:材質SKK490,本数88本(11×9),径φ1000,厚さ22mm</p> <p>凡例 ○:杭 (杭伏図) 断面図</p> |
| 建屋の特徴 | 建物中央部には原子炉格納容器を囲む円形の壁があり、その外側に二次格納施設である原子炉棟の外壁及び原子炉建屋付属棟の外壁がある。 | 緊急時対策所建屋2階に、重大事故等の発生時においても、必要な指示及び対策を行う要員がとどまることができる緊急時対策所を設置している。 |

3. 耐震評価手法 ③ 土木構造物 (1/6)

土木構造物は、以下の評価方法に基づき耐震性評価を実施する。

○ 土木構造物の機能要求

土木構造物は、耐震安全上重要な機器・配管系の間接支持機能及び非常時における海水の通水機能が求められている。

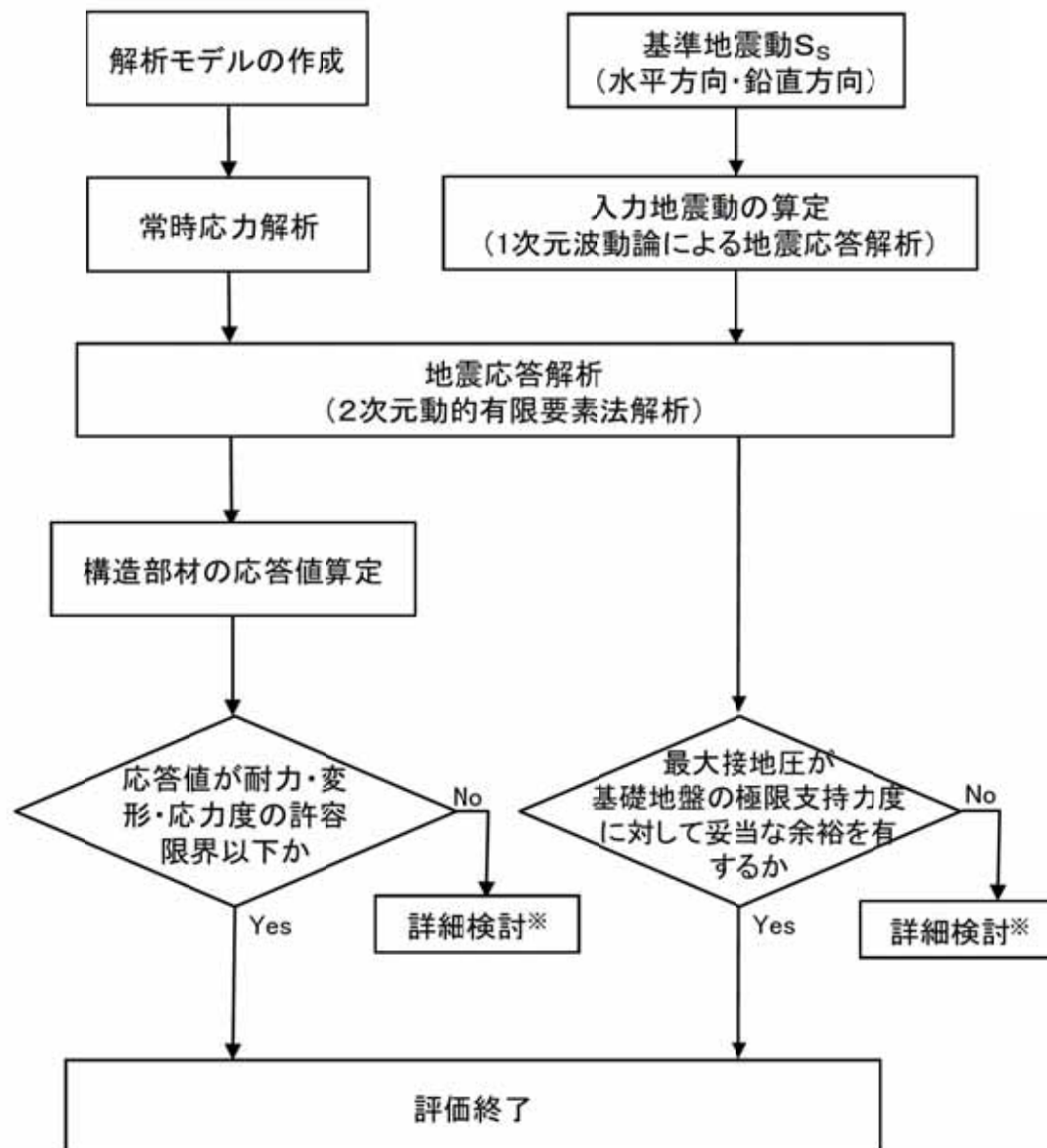
○ 土木構造物の評価

土木構造物の耐震安全性評価では、**構造物が崩壊しないこと及び間接支持する機器・配管系に影響がないこと**を目標性能とし、基準地震動 S_S による地震応答解析を行い、**構造部材の応答値が許容限界以下であることを確認**する。

○ 基礎地盤の評価

土木構造物の評価と同様に、地震応答解析から得られる**最大接地圧が基礎地盤の極限支持力に対して妥当な余裕を有することを確認**することで基礎地盤が十分な支持性能を有することを確認する。

構造強度評価の手順



3. 耐震評価手法 ③ 土木構造物 (2/6)



○ 代表的な土木構造物について、取水構造物及び鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁を例に構造概要を示す。

| | 取水構造物 | 鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁 |
|-------|--|--|
| 構造概要 | 鉄筋コンクリート造の地中構造であり、杭を介して十分な支持性能を有する岩盤に設置する。 | 鋼管杭による下部構造と、5本の鋼管杭を束ね止水機能を確認する鉄筋コンクリートの壁による上部構造から構成される。 |
| 基礎 | 鋼管杭を介して、砂質泥岩である久米層に岩着 | 鋼管杭を介して、砂質泥岩である久米層に岩着 |
| 平面形状 | 延長約57m, 幅約43m, 鋼管杭φ1.016m | 延長約1.5km, 厚さ3.5m(鋼管杭φ2.5m)(東側), 厚さ3.0m(鋼管杭φ2.0m)(北側, 南側) |
| 高さ | 高さ約12m | T.P.+20.0m(東側), T.P.+18.0m(北側, 南側) |
| 図面 | <p>平面図</p> <p>断面図</p> | <p>正面図及び断面図</p> <p>平面図</p> |
| 構造の特徴 | 取水方向に対して複数の断面形状を示す鉄筋コンクリート造の地中構造物であるが、構造的には多連ボックスカルバート状のラーメン構造である。 | 隣接する構造物との境界には、止水性を確保するための止水ジョイント部材を設置する。防潮壁の堤内側には、耐津波に対する受働抵抗を目的とした地盤改良体(セメント改良)による地盤高さの嵩上げを行うとともに、洗掘防止対策やボーリング対策として、堤内及び堤外の表層部の地盤改良(セメント改良)を実施する。 |

3. 耐震評価手法 ③ 土木構造物 (3/6)



地震応答解析モデルは、以下の方針に基づき構築する。

○ モデル化の基本方針

- ・構造部材は、線形及び非線形はり要素にてモデル化する。
- ・地盤は、マルチスプリング要素及び間隙水要素にてモデル化し、地震時の有効応力の変化に応じた非線形せん断応力～せん断ひずみ関係を考慮する。
- ・地盤は、地震の波動をなめらかに表現するために十分細分化した要素分割とする。また、境界条件の影響が評価対象構造物に及ばないよう、十分に広い範囲をモデル化する。

代表的な土木構造物について、取水構造物及び鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁を例に地震応答解析モデルを以下に示す。

| 建屋名称 | 取水構造物 | 鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁 |
|-------|-------|----------------|
| 解析モデル | | |

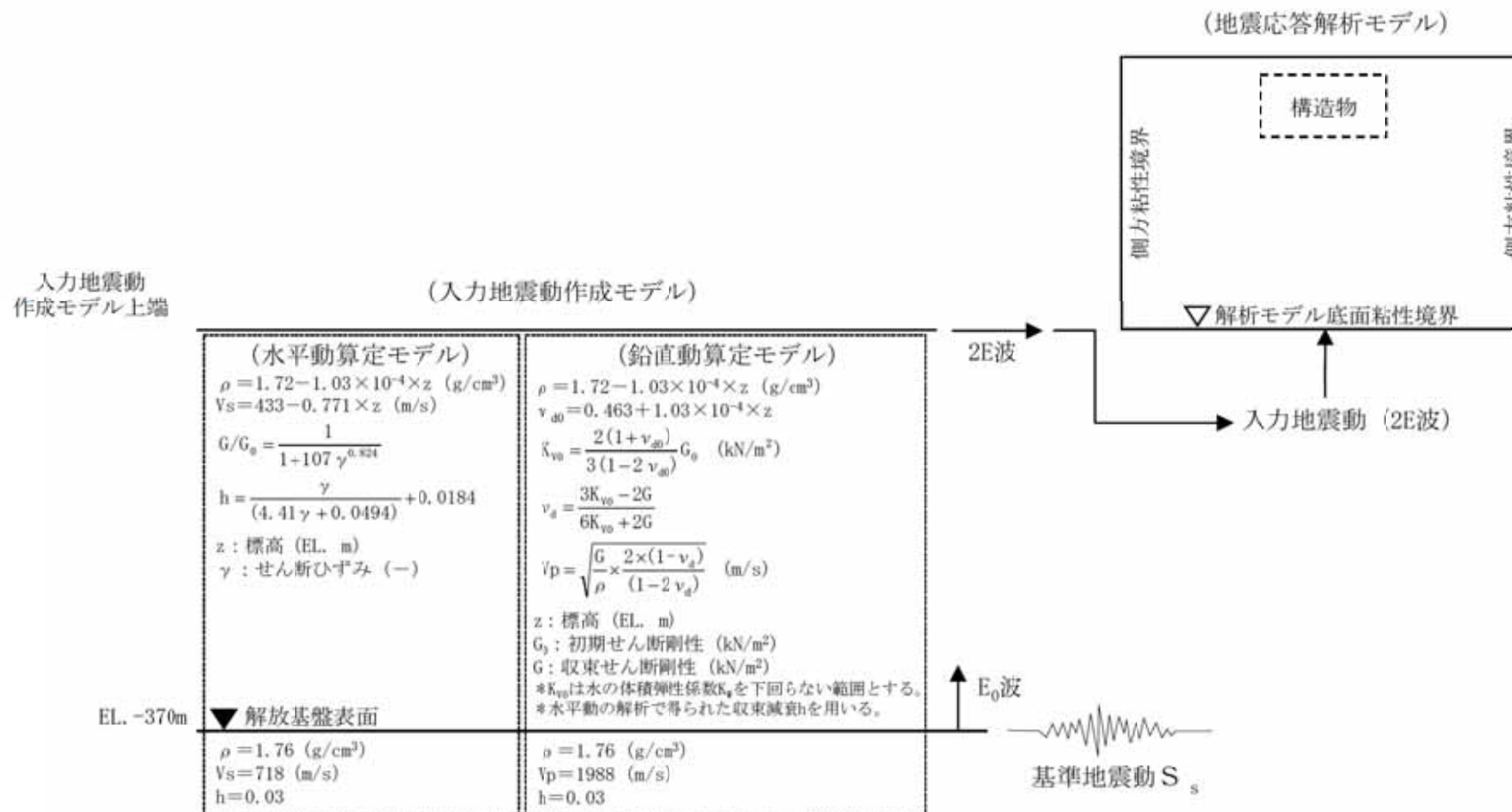
3. 耐震評価手法 ③ 土木構造物 (4/6)



○ 入力地震動算定

地震応答解析に用いる入力地震動は、解放基盤表面で定義される基準地震動 S_s を1次元波動論により地震応答解析モデルの底面位置で評価したものをを用いる。

また、入力地震動の設定に用いる地下構造モデルについては、解放基盤表面(EL.-370 m)から解析モデル底面位置の久米層をモデル化する。



3. 耐震評価手法 ③ 土木構造物 (5/6)

○ 屋外重要土木構造物及び津波防護施設の要求性能と要求性能に対する耐震評価内容

【屋外重要土木構造物の要求性能】

- ① 支持性能: Sクラスの機器・配管系を間接支持する構造物について、**機器・配管系の各機能を安全に支持できること。**
- ② 通水性能: 非常用取水設備のうち、通水断面を有する構造物について、**通水機能を保持できること。**
- ③ 貯水性能: 非常用取水設備について、**著しい漏水がなく、所要の海水を貯留できること。**
- ④ 止水性能: 津波防護施設、**浸水防止設備を間接支持する構造物について、止水機能を有すること。**

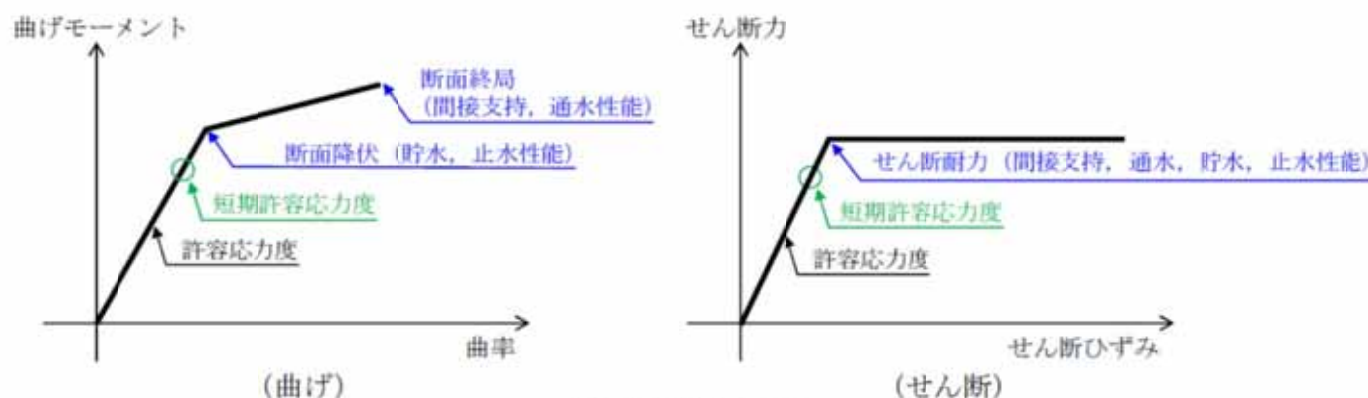
○ 各種要求性能に対応する許容限界

【既設屋外重要土木構造物】

- ① 支持性能及び② 通水性能に対する許容限界は、曲げ及びせん断ともに終局耐力とする。
 - ③ 貯水性能及び④ 止水性能に対する許容限界は、曲げについては降伏耐力、せん断については終局耐力(せん断耐力)とする。
- これらの許容限界のうち終局耐力に対しては、各種安全係数を考慮することで、妥当な安全余裕を考慮した設計を行う方針とする。

【新設屋外重要土木構造物及び津波防護施設】

短期許容応力度を許容限界とすることで、上記の要求性能全てを満足させる設計方針とする。



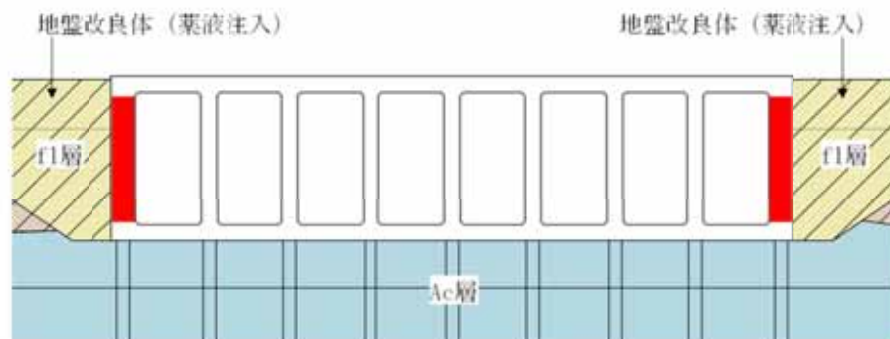
3. 耐震評価手法 ③ 土木構造物 (6/6)

既設 土木構造物の耐震評価結果：取水構造物

○ 貯水機能及び止水機能を有する部材

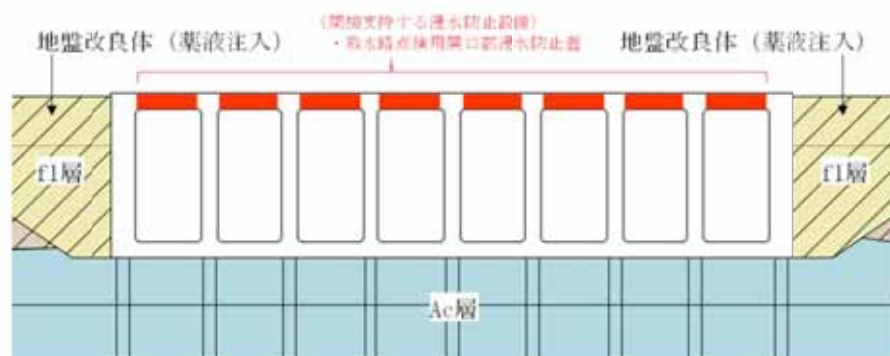
【貯水機能】

取水構造物における側壁と底板のうち、埋戻土 (f1層) に接する側壁に対し、貯水機能を確保する。底板は透水係数の小さい粘性土 (Ac層) に接しており、かつ地下水位面 (海面) よりも低い位置に設置されるため対象外とする。



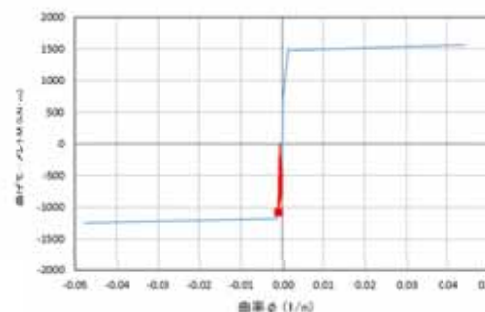
【止水機能】

水防止設備を間接支持する部材に対し、止水機能を確保する。

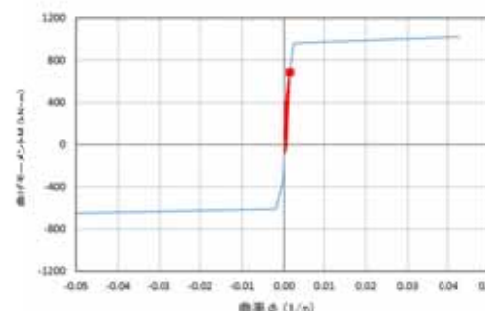


○ 評価結果 (貯水機能及び止水機能)

- ・貯水機能及び止水機能を要求する鉄筋コンクリート部材について、鉄筋の降伏 (第二折れ点) を許容限界とした評価を行う。
- ・評価結果は第二折れ点未満であり、許容限界を満足することを確認した。



(側壁：貯水機能)



(頂版：止水機能)

M-φ曲線を用いた止水機能の確認結果

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (1/30)



○ 機器・配管系の重要設備について基準地震動Ssにおける発生値が許容値に収まることを確認した。

| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|---------------------------------|------|---------------------------------|--------------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-2-2-2 | 原子炉建屋地下排水設備排水ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 9 | 147 | 16.33 |
| | | 機能維持 | 地下排水設備排水ポンプ | 応答加速度(鉛直) | G | 0.51 | 2 | 3.92 |
| V-2-2-2-3 | 原子炉建屋地下排水設備排水配管の耐震性についての計算書 | 構造強度 | IW-001YD | 一次応力 | MPa | 27 | 369 | 13.66 |
| V-2-2-2-4 | 原子炉建屋地下排水設備集水ピット水位の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト (集水ピット水位監視盤) | 引張応力 | MPa | 26 | 168 | 6.46 |
| | | 機能維持 | 集水ピット水位監視盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.91 | 1.5 | 1.64 |
| V-2-2-2-5 | 原子炉建屋地下排水設備排水ポンプ制御盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 33 | 168 | 5.09 |
| | | 機能維持 | 排水ポンプ制御盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.91 | 2 | 2.19 |
| V-2-3-3-1 | 燃料集合体の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 被覆管 | 設計比 | - | 0.37 | 1 | 2.70 |
| V-2-3-3-2-2 | 炉心シュラウドの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 下部胴 | 座屈応力 | - | 0.56 | 1 | 1.78 |
| V-2-3-3-2-3 | シュラウドサポートの耐震性についての計算書 | 構造強度 | レグ | 圧縮応力 | MPa | 193 | 245 | 1.26 |
| V-2-3-3-2-4 | 上部格子板の耐震性についての計算書 | 構造強度 | グリッドプレート | 一次一般膜+一次曲げ応力 | MPa | 136 | 391 | 2.87 |
| V-2-3-3-2-5 | 炉心支持板の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 支持板 | 一次一般膜+一次曲げ応力 | MPa | 108 | 391 | 3.62 |
| V-2-3-3-2-6 | 燃料支持金具の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 周辺燃料支持金具 | 一次一般膜応力 | MPa | 12 | 104 | 8.66 |
| V-2-3-3-2-7 | 制御棒案内管の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 長手中央部 | 一次一般膜応力 | MPa | 20 | 130 | 6.5 |
| V-2-3-4-1-2 | 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書(その1) | 構造強度 | 下部鏡板 | 一次一般膜応力 | MPa | 172 | 326 | 1.89 |
| V-2-3-4-1-3 | 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書(その2) | 構造強度 | ジェットポンプ計測管貫通部ノズル (ノズルセーフエンド) | 一次膜+一次曲げ応力 | MPa | 237 | 338 | 1.42 |
| V-2-3-4-2-1 | 原子炉圧力容器スタビライザの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ロッド | 引張応力 | MPa | 410 | 440 | 1.07 |
| V-2-3-4-2-2 | 原子炉格納容器スタビライザの耐震性についての計算書 | 構造強度 | フランジボルト | 引張応力 | MPa | 509 | 534 | 1.04 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (2/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|--------------|--|------|--------------------|--------------|------|--------|------|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-3-4-2-3 | 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書 | 構造強度 | レストレイントビーム一般部 | 曲げ応力 | MPa | 149 | 241 | 1.61 |
| V-2-3-4-2-4 | 差圧検出・ほう酸水注入管(ティーよりN10ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 差圧検出・ほう酸水注入管 | 一次一般膜応力 | MPa | 41 | 232 | 5.65 |
| V-2-3-4-3-2 | 蒸気乾燥器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 耐震サポート | せん断応力 | MPa | 63 | 82 | 1.3 |
| V-2-3-4-3-3 | 気水分離器及びスタンドパイプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | スタンドパイプ | モーメント | kN・m | 43.9 | 44.7 | 1.02 |
| V-2-3-4-3-4 | シュラウドヘッドの耐震性についての計算書 | 構造強度 | シュラウドヘッドボルト | 一次一般膜応力 | MPa | 131 | 147 | 1.12 |
| V-2-3-4-3-5 | ジェットポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ライザ | 一次一般膜＋一次曲げ応力 | MPa | 78 | 195 | 2.5 |
| V-2-3-4-3-6 | 給水スパージャの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ヘッド | 一次一般膜＋一次曲げ応力 | MPa | 23 | 254 | 11.04 |
| V-2-3-4-3-7 | 高圧及び低圧炉心スプレイスパージャの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ヘッド | 一次一般膜＋一次曲げ応力 | MPa | 43 | 226 | 5.25 |
| V-2-3-4-3-8 | 残留熱除去系配管(原子炉圧力容器内部)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | フランジネック | 一次一般膜応力 | MPa | 2 | 104 | 52 |
| V-2-3-4-3-9 | 高圧及び低圧炉心スプレイ配管(原子炉圧力容器内部)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 低圧炉心スプレイ配管 | 一次一般膜＋一次曲げ応力 | MPa | 228 | 261 | 1.14 |
| V-2-3-4-3-10 | 差圧検出・ほう酸水注入管(原子炉圧力容器内部)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | ほう酸水注入管 | 一次一般膜＋一次曲げ応力 | MPa | 47 | 156 | 3.31 |
| V-2-3-4-3-11 | 中性子計測案内管の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 中性子計測案内管 | 一次一般膜＋一次曲げ応力 | MPa | 102 | 156 | 1.52 |
| V-2-4-2-2 | 使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ラック取付ボルト 70体ラック | 引張応力 | MPa | 126 | 153 | 1.21 |
| V-2-4-2-3-1 | 使用済燃料乾式貯蔵容器の耐震性についての計算書(タイプⅠ) | 構造強度 | トランニオン固定ボルト | 引張応力 | MPa | 375 | 478 | 1.27 |
| V-2-4-2-3-2 | 使用済燃料乾式貯蔵容器の耐震性についての計算書(タイプⅡ) | 構造強度 | 下部トランニオン | 組合応力 | MPa | 441 | 591 | 1.34 |
| V-2-4-2-3-3 | 使用済燃料乾式貯蔵容器の耐震性についての計算書(タイプⅢ) | 構造強度 | トランニオン固定金具 | 曲げ応力 | MPa | 583 | 837 | 1.43 |
| V-2-4-2-4 | 使用済燃料プール温度(SA)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 架構 | 組合応力 | MPa | 149 | 205 | 1.37 |
| | | 機能維持 | 使用済燃料プール温度(SA) | 応答加速度(水平) | G | 9.75 | 10 | 1.02 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (3/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|---------------------------------|------|-------------------------|-----------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-4-2-5 | 使用済燃料プール水位・温度(SA広域)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 49 | 147 | 3.00 |
| | | 機能維持 | 使用済燃料プール水位・温度(SA広域) | 応答加速度(水平) | G | 5.2 | 11 | 2.11 |
| V-2-4-3-1-1 | 管の耐震性についての計算書(燃料プール冷却浄化系) | 構造強度 | FPC-11 | 一次応力 | MPa | 203 | 414 | 2.03 |
| V-2-4-3-2-1 | 管の耐震性についての計算書(代替燃料プール注水系) | 構造強度 | ALPI-004R4F | 一次応力 | MPa | 133 | 366 | 2.75 |
| V-2-4-3-3-1 | 代替燃料プール冷却系熱交換器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 脚 | 組合応力 | MPa | 36 | 241 | 6.69 |
| V-2-4-3-3-2 | 代替燃料プール冷却系ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ポンプ取付ボルト | 引張応力 | MPa | 36 | 398 | 11.05 |
| | | 機能維持 | ポンプ原動機 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.98 | 1 | 1.02 |
| V-2-4-3-3-3 | 管の耐震性についての計算書(代替燃料プール冷却系) | 構造強度 | AFPC-3 | 一次応力 | MPa | 77 | 365 | 4.74 |
| V-2-4-4-1 | 使用済燃料プール監視カメラの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト(監視カメラ) | 引張応力 | MPa | 153 | 318 | 2.07 |
| | | 機能維持 | 使用済燃料プール監視カメラ(制御盤) | 応答加速度(鉛直) | G | 0.98 | 1.5 | 1.53 |
| V-2-4-4-2 | 使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト(空気圧縮機) | 引張応力 | MPa | 19 | 168 | 8.84 |
| | | 機能維持 | 使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置(冷却器) | 応答加速度(鉛直) | G | 1.47 | 2 | 1.36 |
| V-2-5-2-1-1 | 管の耐震性についての計算書(原子炉冷却材再循環系) | 構造強度 | PLR-PD-1 | 一次応力 | MPa | 192 | 252 | 1.38 |
| V-2-5-3-1-1 | アキュムレータの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 胴板 | 一次一般膜応力 | MPa | 54 | 248 | 4.59 |
| V-2-5-3-1-2 | 管の耐震性についての計算書(主蒸気系) | 構造強度 | MS-B | 一次応力 | MPa | 306 | 345 | 1.12 |
| | | 機能維持 | 主蒸気隔離弁B22-F022A,F22B | 応答加速度(鉛直) | G | 5.6 | 6.2 | 1.10 |
| V-2-5-3-2-1 | 管の耐震性についての計算書(復水給水系) | 構造強度 | FDW-5.6,7.8,11 | ねじり応力 | MPa | 98 | 100 | 1.02 |
| | | 機能維持 | 逆止め弁 | 応答加速度(水平) | G | 4.8 | 6 | 1.25 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (4/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|---------------------------------|------|---------------------|------------------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-5-3-3-1 | 管の耐震性についての計算書 (主蒸気隔離弁漏えい抑制系) | 構造強度 | MSIV-10,13,14,16,19 | 一次応力 | MPa | 146 | 363 | 2.48 |
| V-2-5-4-1-1 | 残留熱除去系熱交換器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト(ラグ部) (A号機) | 引張り | MPa | 405 | 444 | 1.09 |
| V-2-5-4-1-2 | 残留熱除去系ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | バレルケーシング | 一次一般膜応力 | MPa | 59 | 223 | 3.77 |
| | | 機能維持 | ポンプ 原動機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.75 | 1 | 1.33 |
| V-2-5-4-1-3 | 残留熱除去系ストレナの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 全ディスクセットの多孔 プレート | 一次膜応力+一次曲 げ応力 | MPa | 119 | 351 | 2.94 |
| V-2-5-4-1-4 | 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系) | 構造強度 | RHR-70 ELBOW | 一次応力 | MPa | 217 | 260 | 1.19 |
| | | 機能維持 | 逆止め弁 E12-F050A | 応答加速度 (水平) | G | 5.9 | 6 | 1.01 |
| V-2-5-4-1-5 | ストレナ部ティーの耐震計算書(残留熱除去系) | 構造強度 | ティー | 一次応力 | MPa | 25 | 339 | 13.56 |
| V-2-5-4-2-1 | 管の耐震性についての計算書 (耐圧強化ベント系) | 構造強度 | AC-SGTS | 一次応力 | MPa | 91 | 335 | 3.68 |
| V-2-5-5-1-1 | 高圧炉心スプレイ系ポンプの耐震性についての計算 書 | 構造強度 | コラムパイプ | 一次一般膜応力 | MPa | 204 | 223 | 1.09 |
| | | 機能維持 | ポンプ 原動機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.75 | 1 | 1.33 |
| V-2-5-5-1-2 | 高圧炉心スプレイ系ストレナの耐震性についての 計算書 | 構造強度 | 全ディスクセットの多孔 プレート | 一次膜応力+一次曲 げ応力 | MPa | 119 | 351 | 2.94 |
| V-2-5-5-1-3 | 管の耐震性についての計算書 (高圧炉心スプレイ系) | 構造強度 | HPCS-1 | 一次応力 | MPa | 93 | 100 | 1.07 |
| | | 機能維持 | E22-F001 | 応答加速度 (水平) | G | 3.9 | 6 | 1.53 |
| V-2-5-5-1-4 | ストレナ部ティーの耐震計算書(高圧炉心スプレイ 系) | 構造強度 | ティー | 一次応力 | MPa | 25 | 339 | 13.56 |
| V-2-5-5-2-1 | 低圧炉心スプレイ系ポンプの耐震性についての計算 書 | 構造強度 | 原動機台取付ボルト | 引張応力 | MPa | 29 | 163 | 5.62 |
| | | 機能維持 | ポンプ 原動機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.75 | 1 | 1.33 |
| V-2-5-5-2-2 | 低圧炉心スプレイ系ストレナの耐震性についての 計算書 | 構造強度 | 全ディスクセットの多孔 プレート | 一次膜応力+一次曲 げ応力 | MPa | 119 | 351 | 2.94 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (5/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|-----------------------------------|------|---------------------|---------------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-5-5-2-3 | 管の耐震性についての計算書 (低圧炉心スプレイ系) | 構造強度 | LPCS-1 ELBOW | ねじり応力 | MPa | 53 | 100 | 1.88 |
| | | 機能維持 | E21-F006 | 応答加速度 (水平) | G | 3.7 | 6 | 1.62 |
| V-2-5-5-2-4 | ストレナー部ティーの耐震計算書(低圧炉心スプレイ系) | 構造強度 | ティー | 一次応力 | MPa | 25 | 339 | 13.56 |
| V-2-5-5-3-1 | 原子炉隔離時冷却系ストレナーの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 多孔プレートとフランジ の取付部 | 一次膜＋一次曲げ応力 | MPa | 5 | 394 | 78.80 |
| V-2-5-5-4-1 | 常設高圧代替注水系ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ポンプ取付ボルト | 引張応力 | MPa | 64 | 398 | 6.21 |
| | | 機能維持 | 常設高圧代替注水系 ポンプ | 応答加速度 (水平) | G | 0.72 | 3 | 4.16 |
| V-2-5-5-4-2 | 管の耐震性についての計算書 (高圧代替注水系) | 構造強度 | AHPI-3 | 一次応力 | MPa | 153 | 363 | 2.37 |
| | | 機能維持 | 一般弁 SA13-MO-F300 | 応答加速度 (水平) | G | 3.5 | 6 | 1.71 |
| V-2-5-5-5-1 | 常設低圧代替注水系ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 38 | 184 | 4.84 |
| | | 機能維持 | ポンプ | 応答加速度 (水平) | G | 1.31 | 1.4 | 1.06 |
| V-2-5-5-5-2 | 管の耐震性についての計算書 (低圧代替注水系) | 構造強度 | ALPI-013YD | 一次応力 | MPa | 142 | 366 | 2.57 |
| V-2-5-5-6-1 | 代替循環冷却系ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 16 | 173 | 10.81 |
| | | 機能維持 | ポンプ 原動機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.75 | 1 | 1.33 |
| V-2-5-5-6-2 | 管の耐震性についての計算書 (代替循環冷却系) | 構造強度 | ARC-2 | 一次応力 | MPa | 186 | 365 | 1.96 |
| V-2-5-6-1-1 | 原子炉隔離時冷却系ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 27 | 455 | 16.85 |
| | | 機能維持 | ポンプ | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.75 | 1 | 1.33 |
| V-2-5-6-1-2 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービンの耐震性についての計算書 | 構造強度 | タービン取付ボルト | 引張応力 | MPa | 89 | 444 | 4.98 |
| | | 機能維持 | 原子炉隔離時冷却系 タービン | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.75 | 1 | 1.33 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (6/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|------------------------------|------|---------------------------|---------------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-5-6-1-3 | 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系) | 構造強度 | RCIC-19.20.29 SUP.PT | 一次応力 | MPa | 161 | 252 | 1.56 |
| | | 機能維持 | 逆止め弁 | 応答加速度 (鉛直) | G | 4.9 | 6 | 1.22 |
| V-2-5-6-1-4 | ストレーナ部ティーの耐震計算書(原子炉隔離時冷却系) | 構造強度 | ティー | 一次応力 | MPa | 9 | 339 | 37.66 |
| V-2-5-7-1-1 | 残留熱除去系海水系ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ポンプ取付ボルト | 引張応力 | MPa | 148 | 184 | 1.24 |
| | | 機能維持 | ポンプ 原動機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.86 | 1 | 1.16 |
| V-2-5-7-1-2 | 残留熱除去系海水系ストレーナの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 167 | 207 | 1.23 |
| V-2-5-7-1-3 | 管の耐震性についての計算書 (残留熱除去系海水系) | 構造強度 | RHRS-006R1F | 一次応力 | MPa | 233 | 336 | 1.44 |
| V-2-5-7-2-1 | 緊急用海水ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 原動機取付ボルト | 引張応力 | MPa | 57 | 184 | 3.22 |
| | | 機能維持 | ポンプ 原動機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.87 | 1 | 1.14 |
| V-2-5-7-2-2 | 緊急用海水系ストレーナの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 47 | 184 | 3.91 |
| V-2-5-7-2-3 | 管の耐震性についての計算書 (緊急用海水系) | 構造強度 | ESW-D | 一次応力 | MPa | 249 | 369 | 1.48 |
| V-2-5-8-1-1 | 管の耐震性についての計算書 (原子炉冷却材浄化系) | 構造強度 | CU-PD-9 | 一次応力 | MPa | 215 | 260 | 1.20 |
| | | 機能維持 | G33-F001 | 応答加速度 (水平) | G | 4.8 | 6 | 1.25 |
| V-2-6-2-1 | 制御棒の耐震性についての計算書 | 機能維持 | 挿入性 | 相対変位 | mm | 11.1 | 40 | 3.60 |
| V-2-6-3-1 | 制御棒駆動機構の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 管NO.1最小断面 管NO.2最小断面 | 一次応力 | MPa | 22 | 252 | 11.45 |
| V-2-6-3-2-1 | 水圧制御ユニットの耐震性についての計算書 | 構造強度 | フレーム | 組合応力 | MPa | 74 | 270 | 3.64 |
| | | 機能維持 | CRDスクラム弁 (弁番号:126,127) | 応答加速度 (水平) | G | 1.29 | 6 | 4.65 |
| V-2-6-3-2-2 | 管の耐震性についての計算書 (制御棒駆動水圧系) | 構造強度 | CRD-51.52 | 一次応力 | MPa | 194 | 431 | 2.22 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (7/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|---------------------------------------|------|-----------------------------------|------------------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-6-4-1-1 | ほう酸水注入ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ポンプ取付ボルト | 引張応力 | MPa | 38 | 185 | 4.86 |
| | | 機能維持 | 往復動式ポンプ 原動機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 1 | 1 | 1.00 |
| V-2-6-4-1-2 | ほう酸水貯蔵タンクの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 胴板 | 一次一般膜応力 | MPa | 42 | 287 | 6.83 |
| V-2-6-4-1-3 | 管の耐震性についての計算書 (ほう酸水注入系) | 構造強度 | SLC-3.4.5 | 一次応力 | MPa | 144 | 351 | 2.43 |
| V-2-6-5-1 | 起動領域計装の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 起動領域計装ドライ チューブ | 一次一般膜＋一次曲 げ応力 | MPa | 189 | 391 | 2.06 |
| V-2-6-5-2 | 出力領域計装の耐震性についての計算書 | 構造強度 | カバーチューブ | 一次一般膜＋一次曲 げ応力 | MPa | 191 | 226 | 1.18 |
| V-2-6-5-3 | 主蒸気流量の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 18 | 210 | 11.66 |
| | | 機能維持 | 主蒸気流量 | 応答加速度 (水平) | G | 0.95 | 3 | 3.15 |
| V-2-6-5-4 | 原子炉圧力容器温度の耐震性についての計算書 | 機能維持 | 原子炉圧力容器 (TE-B22-N030C) | 応答加速度 (水平) | G | 1.56 | 10 | 6.41 |
| V-2-6-5-5 | 高圧代替注水系系統流量の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 4 | 162 | 40.50 |
| | | 機能維持 | 高圧代替注水系系統 流量 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-5-6 | 低圧代替注水系原子炉注水流量(常設ライン用)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト (遮へい体) | 引張応力 | MPa | 31 | 156 | 5.03 |
| | | 機能維持 | 低圧代替注水系原子 炉注水流量(常設ライ ン用) | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.98 | 2 | 2.04 |
| V-2-6-5-7 | 低圧代替注水系原子炉注水流量(常設ライン狭帯域用)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト (遮へい体) | 引張応力 | MPa | 31 | 156 | 5.03 |
| | | 機能維持 | 低圧代替注水系原子 炉注水流量(常設ライ ン狭帯域用) | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.98 | 2 | 2.04 |
| V-2-6-5-8 | 低圧代替注水系原子炉注水流量(可搬ライン用)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト (遮へい体) | 引張応力 | MPa | 28 | 162 | 5.78 |
| | | 機能維持 | 低圧代替注水系原子 炉注水流量(可搬ライ ン用) | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.94 | 2 | 2.38 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (8/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|------------|---------------------------------------|------|---------------------------|---------------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-6-5-9 | 低圧代替注水系原子炉注水流量(可搬ライン狹帯域用)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト (遮へい体) | 引張応力 | MPa | 28 | 162 | 5.78 |
| | | 機能維持 | 低圧代替注水系原子炉注水流量(可搬ライン狹帯域用) | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.84 | 2 | 2.38 |
| V-2-6-5-10 | 代替循環冷却系原子炉注水流量の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト (遮へい体) | 引張応力 | MPa | 38 | 156 | 4.10 |
| | | 機能維持 | 代替循環冷却系原子炉注水流量 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.84 | 2 | 2.38 |
| V-2-6-5-11 | 代替循環冷却系ポンプ入口温度の耐震性についての計算書 | 機能維持 | 代替循環冷却系ポンプ入口温度 | 応答加速度 (水平) | G | 0.96 | 10 | 10.41 |
| V-2-6-5-12 | 残留熱除去系熱交換器入口温度の耐震性についての計算書 | 機能維持 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | 応答加速度 (水平) | G | 1.13 | 10 | 8.84 |
| V-2-6-5-13 | 残留熱除去系熱交換器出口温度の耐震性についての計算書 | 機能維持 | 残留熱除去系熱交換器出口温度 | 応答加速度 (水平) | G | 1.1 | 10 | 9.09 |
| V-2-6-5-14 | 原子炉隔離時冷却系系統流量の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 6 | 162 | 27.00 |
| | | 機能維持 | 原子炉隔離時冷却系系統流量 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-5-15 | 高圧炉心スプレイ系系統流量の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 14 | 202 | 14.42 |
| | | 機能維持 | 高圧炉心スプレイ系系統流量 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-5-16 | 低圧炉心スプレイ系系統流量の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 14 | 202 | 14.42 |
| | | 機能維持 | 低圧炉心スプレイ系系統流量 | 応答加速度 (鉛直) | MPa | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-5-17 | 残留熱除去系系統流量の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 14 | 202 | 14.42 |
| | | 機能維持 | 残留熱除去系系統流量 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-5-18 | 原子炉圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 16 | 190 | 11.87 |
| | | 機能維持 | 原子炉圧力 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.84 | 2 | 2.38 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (9/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|------------|-----------------------------|------|-----------------|---------------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-6-5-19 | 原子炉圧力(SA)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 19 | 156 | 8.21 |
| | | 機能維持 | 原子炉圧力(SA) | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.98 | 2 | 2.04 |
| V-2-6-5-20 | 原子炉水位の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 17 | 210 | 12.35 |
| | | 機能維持 | 原子炉水位 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.84 | 2 | 2.38 |
| V-2-6-5-21 | 原子炉水位(広帯域)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 16 | 156 | 9.75 |
| | | 機能維持 | 原子炉水位(広帯域) | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.84 | 2 | 2.38 |
| V-2-6-5-22 | 原子炉水位(燃料域)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 15 | 156 | 10.40 |
| | | 機能維持 | 原子炉水位(燃料域) | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.83 | 2 | 2.40 |
| V-2-6-5-23 | 原子炉水位(SA広帯域)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 36 | 156 | 4.33 |
| | | 機能維持 | 原子炉水位(SA広帯域) | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.84 | 2 | 2.38 |
| V-2-6-5-24 | 原子炉水位(SA燃料域)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 15 | 162 | 10.80 |
| | | 機能維持 | 原子炉水位(SA燃料域) | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.83 | 2 | 2.40 |
| V-2-6-5-25 | ドライウェル圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 42 | 156 | 3.71 |
| | | 機能維持 | ドライウェル圧力 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.98 | 2 | 2.04 |
| V-2-6-5-26 | サブプレッション・チェンバ圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト (遮へい体) | 引張応力 | MPa | 47 | 156 | 3.31 |
| | | 機能維持 | サブプレッション・チェンバ圧力 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.83 | 2 | 2.40 |
| V-2-6-5-27 | サブプレッション・プール水温度の耐震性についての計算書 | 機能維持 | サブプレッション・プール水温度 | 応答加速度 (水平) | G | 1 | 10 | 10.00 |
| V-2-6-5-28 | ドライウェル昇気管温度の耐震性についての計算書 | 機能維持 | ドライウェル昇気管温度 | 応答加速度 (水平) | G | 1.77 | 10 | 5.64 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (10/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|------------|---------------------------------------|------|---------------------------|-----------|-----|--------|-----|--------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-6-5-29 | サプレッション・チェンバ雰囲気温度の耐震性についての計算書 | 機能維持 | サプレッション・チェンバ雰囲気温度 | 応答加速度(水平) | G | 1 | 10 | 10.00 |
| V-2-6-5-30 | 格納容器内水素濃度の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 40 | 168 | 4.20 |
| | | 機能維持 | 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.98 | 1 | 1.02 |
| V-2-6-5-31 | 格納容器内水素濃度(SA)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 30 | 202 | 6.73 |
| | | 機能維持 | 格納容器内雰囲気ガスサンプリング装置 | 応答加速度(水平) | G | 1.11 | 3.5 | 3.15 |
| V-2-6-5-34 | 格納容器下部水温の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 33 | 116 | 3.51 |
| | | 機能維持 | 格納容器下部水温 | 応答加速度(水平) | G | 1.17 | 10 | 8.54 |
| V-2-6-5-35 | 代替淡水貯槽水位の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 3 | 162 | 54.00 |
| | | 機能維持 | 代替淡水貯槽水位 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.56 | 2 | 3.57 |
| V-2-6-5-36 | 西側淡水貯水設備水位の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 1 | 113 | 113.00 |
| | | 機能維持 | 西側淡水貯水設備水位 | 応答加速度(水平) | G | 0.68 | 2 | 2.94 |
| V-2-6-5-37 | 低圧代替注水系格納容器スプレイ流量(常設ライン用)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 4 | 156 | 39.00 |
| | | 機能維持 | 低圧代替注水系格納容器スプレイ流量(常設ライン用) | 応答加速度(鉛直) | G | 0.8 | 2 | 2.50 |
| V-2-6-5-38 | 低圧代替注水系格納容器スプレイ流量(可搬ライン用)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト(遮へい体) | 引張応力 | MPa | 31 | 162 | 5.22 |
| | | 機能維持 | 低圧代替注水系格納容器スプレイ流量(可搬ライン用) | 応答加速度(鉛直) | G | 0.98 | 2 | 2.04 |
| V-2-6-5-39 | 低圧代替注水系格納容器下部注水流量の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト(遮へい体) | 引張応力 | MPa | 31 | 156 | 5.03 |
| | | 機能維持 | 低圧代替注水系格納容器下部注水流量 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.98 | 2 | 2.04 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (11/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|-------------------------------------|------|---------------------------------|---------------|-----|--------|------|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-6-5-40 | 代替循環冷却系格納容器スプレイ流量の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト (遠へい体) | 引張応力 | MPa | 23 | 156 | 6.78 |
| | | 機能維持 | 代替循環冷却系格納 容器スプレイ流量 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-5-41 | サブプレッション・プール水位の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 溶接部 | 組合応力 | MPa | 35 | 143 | 4.08 |
| | | 機能維持 | サブプレッション・プール 水位 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-5-42 | 格納容器下部水位の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 33 | 116 | 3.51 |
| | | 機能維持 | 格納容器下部水位 | 応答加速度 (水平) | G | 1.17 | 10 | 8.54 |
| V-2-6-5-43 | 原子炉建屋水素濃度の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 10 | 156 | 15.60 |
| | | 機能維持 | 原子炉建屋水素濃度 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.84 | 2 | 2.38 |
| V-2-6-6-1-1 | 管の耐震性についての計算書 (窒素供給系) | 構造強度 | IA-28 | 一次応力 | MPa | 127 | 431 | 3.39 |
| V-2-6-6-2-1 | 管の耐震性についての計算書 (非常用窒素供給系) | 構造強度 | IA-28 | 一次応力 | MPa | 144 | 371 | 2.57 |
| V-2-6-6-3-1 | 管の耐震性についての計算書 (非常用逃がし安全弁駆動系) | 構造強度 | EDS-1 | 一次応力 | MPa | 207 | 431 | 2.08 |
| V-2-6-7-1 | 計測制御設備の盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト (格納容器雰囲気監視 系操作盤) | 引張応力 | MPa | 82 | 210 | 2.56 |
| | | 機能維持 | 格納容器雰囲気監視 系操作盤 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.94 | 1 | 1.06 |
| V-2-6-7-2-1 | 衛星電話設備(固定型)(中央制御室)の耐震性についての計算書 | 機能維持 | 衛星電話設備(固定 型)(中央制御室) | 応答加速度 (水平) | G | 0.81 | 1.79 | 2.20 |
| V-2-6-7-2-2 | 屋外アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 5 | 113 | 18.83 |
| | | 機能維持 | 屋外アンテナ(中央制 御室) | 応答加速度 (水平) | G | 2.04 | 8.24 | 4.03 |
| V-2-6-7-2-3 | 衛星電話設備用通信機器収納ラック(中央制御室)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 20 | 147 | 7.35 |
| | | 機能維持 | 衛星電話設備用通信 機器収納ラック(中央 制御室) | 応答加速度 (水平) | G | 0.81 | 1.84 | 2.27 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (12/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|--|------|--------------------------|-----------|-----|--------|------|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-6-7-2-4 | 衛星電話設備(固定型)(緊急時対策所)の耐震性についての計算書 | 機能維持 | 衛星電話設備(固定型)(緊急時対策所) | 応答加速度(水平) | G | 0.67 | 1.79 | 2.67 |
| V-2-6-7-2-5 | 屋外アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 5 | 113 | 22.60 |
| | | 機能維持 | 屋外アンテナ(緊急時対策所) | 応答加速度(水平) | G | 1.61 | 8.24 | 5.11 |
| V-2-6-7-2-6 | 衛星電話設備用通信機器収納ラック(緊急時対策所)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 39 | 147 | 3.76 |
| | | 機能維持 | 衛星電話設備用通信機器収納ラック(緊急時対策所) | 応答加速度(鉛直) | G | 0.61 | 1.67 | 2.73 |
| V-2-6-7-3 | 安全パラメータ表示システム(SPDS)SPDSデータ表示装置の耐震性についての計算書 | 機能維持 | SPDSデータ表示装置 | 応答加速度(水平) | G | 0.67 | 1.8 | 2.68 |
| V-2-6-7-4 | 安全パラメータ表示システム(SPDS)無線通信用アンテナの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 無線通信用アンテナ(緊急時対策所建屋側) | 引張応力 | MPa | 27 | 123 | 4.55 |
| | | 機能維持 | 無線通信用アンテナ(原子炉建屋側) | 応答加速度(鉛直) | G | 1.56 | 3 | 1.92 |
| V-2-6-7-5 | 統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備の耐震性についての計算書 | 機能維持 | IP電話(衛星系) | 応答加速度(水平) | G | 1.28 | 1.69 | 1.32 |
| V-2-6-7-6 | 統合原子力防災ネットワーク設備衛星アンテナの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 衛星アンテナ支持架台の基礎ボルト(1) | 引張応力 | MPa | 67 | 184 | 2.74 |
| | | 機能維持 | ODU電源部 | 応答加速度(鉛直) | G | 1.21 | 2 | 1.65 |
| V-2-6-7-7 | LAN収容架(SA)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 21 | 184 | 8.76 |
| | | 機能維持 | ルータ等 | 応答加速度(鉛直) | G | 1.14 | 2 | 1.75 |
| V-2-6-7-8 | 再循環系ポンプ遮断器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 49 | 210 | 4.28 |
| | | 機能維持 | 再循環系ポンプ遮断器(B) | 応答加速度(水平) | G | 0.92 | 2.3 | 2.50 |
| V-2-6-7-9 | 再循環系ポンプ低速度用電源装置遮断器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 63 | 202 | 3.20 |
| | | 機能維持 | 再循環系ポンプ低速度用電源装置遮断器 | 応答加速度(水平) | G | 1.29 | 2.3 | 1.78 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (13/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|------------|----------------------------------|------|--------------------------|-----------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-6-7-10 | 格納容器内雰囲気ガスサンプリング装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 30 | 202 | 6.73 |
| | | 機能維持 | 格納容器内雰囲気ガスサンプリング装置 | 応答加速度(水平) | G | 1.11 | 3.5 | 3.15 |
| V-2-6-7-11 | フィルタ装置入口水温度の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 20 | 163 | 8.15 |
| V-2-6-7-11 | フィルタ装置入口水温度の耐震性についての計算書 | 機能維持 | フィルタ装置入口水温度 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.98 | 2.5 | 2.55 |
| V-2-6-7-12 | 静的触媒式水素再結合器動作監視装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 8 | 156 | 19.50 |
| | | 機能維持 | 静的触媒式水素再結合器動作監視装置(入り口温度) | 応答加速度(水平) | G | 1.74 | 10 | 5.74 |
| V-2-6-7-13 | フィルタ装置水位の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 23 | 162 | 7.04 |
| | | 機能維持 | フィルタ装置水位 | 応答加速度(水平) | G | 1.79 | 3 | 1.67 |
| V-2-6-7-14 | フィルタ装置圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 16 | 162 | 10.12 |
| | | 機能維持 | フィルタ装置圧力 | 応答加速度(水平) | G | 1.79 | 3 | 1.67 |
| V-2-6-7-15 | フィルタ装置スクラビング水温度の耐震性についての計算書 | 機能維持 | フィルタ装置スクラビング水温度 | 応答加速度(水平) | G | 1.79 | 10 | 5.58 |
| V-2-6-7-16 | 残留熱除去系海水系系統流量の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 6 | 162 | 27.00 |
| | | 機能維持 | 残留熱除去系海水系系統流量 | 応答加速度(水平) | G | 0.92 | 3 | 3.26 |
| V-2-6-7-17 | 緊急用海水系流量(残留熱除去系熱交換器)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 3 | 161 | 53.66 |
| | | 機能維持 | 緊急用海水系流量(残留熱除去系熱交換器) | 応答加速度(鉛直) | G | 0.8 | 2 | 2.50 |
| V-2-6-7-18 | 緊急用海水系流量(残留熱除去系補機)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 3 | 160 | 53.33 |
| | | 機能維持 | 緊急用海水系流量(残留熱除去系補機) | 応答加速度(鉛直) | G | 0.8 | 2 | 2.50 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (14/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|------------|-------------------------------|------|--------------------|-----------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-6-7-19 | 常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 9 | 202 | 22.44 |
| | | 機能維持 | 緊急用海水系流量(残留熱除去系補機) | 応答加速度(鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-7-20 | 常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 3 | 162 | 54.00 |
| | | 機能維持 | 常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.57 | 2 | 3.50 |
| V-2-6-7-21 | 代替循環冷却系ポンプ吐出圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 2 | 124 | 62.00 |
| | | 機能維持 | 代替循環冷却系ポンプ吐出圧力 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-7-22 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 9 | 202 | 22.44 |
| | | 機能維持 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-7-23 | 高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 14 | 202 | 14.42 |
| | | 機能維持 | 高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-7-24 | 低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 14 | 202 | 14.42 |
| | | 機能維持 | 低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-7-25 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 14 | 202 | 14.42 |
| | | 機能維持 | 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.77 | 2 | 2.59 |
| V-2-6-7-26 | 非常用窒素供給系供給圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 10 | 156 | 15.60 |
| | | 機能維持 | 非常用窒素供給系供給圧力 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.34 | 2 | 2.38 |
| V-2-6-7-27 | 非常用窒素供給系高圧窒素ポンベ圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 10 | 156 | 15.60 |
| | | 機能維持 | 非常用窒素供給系高圧窒素ポンベ圧力 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.34 | 2 | 2.38 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (15/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|-----------------------------------|------|--|-----------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-6-7-28 | 非常用途がし安全弁駆動系供給圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 10 | 156 | 15.60 |
| | | 機能維持 | 非常用途がし安全弁駆動系供給圧力 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.84 | 2 | 2.38 |
| V-2-6-7-29 | 非常用途がし安全弁駆動系高圧窒素ポンペ圧力の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 3 | 156 | 19.50 |
| | | 機能維持 | 非常用途がし安全弁駆動系高圧窒素ポンペ圧力 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.8 | 2 | 2.50 |
| V-2-7-2-1-1 | 管の耐震性についての計算書(液体廃棄物処理系) | 構造強度 | ML-228-I | 一次応力 | MPa | 124 | 361 | 2.91 |
| V-2-8-2-1 | 主蒸気管放射線モニタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 溶接部 | 組合応力 | MPa | 39 | 117 | 3.00 |
| | | 機能維持 | 主蒸気管放射線モニタ | 応答加速度(水平) | G | 1.11 | 20 | 18.01 |
| V-2-8-2-2 | 格納容器雰囲気放射線モニタ(D/W)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 4 | 173 | 43.25 |
| | | 機能維持 | 格納容器雰囲気放射線モニタ(D/W)(D23-N003A) | 応答加速度(鉛直) | G | 4.42 | 6 | 1.35 |
| V-2-8-2-3 | 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 3 | 149 | 49.66 |
| | | 機能維持 | 格納容器雰囲気放射線モニタ(S/C) | 応答加速度(水平) | G | 0.84 | 3 | 3.57 |
| V-2-8-2-4 | 原子炉建屋換気系(ダクト)放射線モニタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト(RE-D17-300AB,C,D) | 引張応力 | MPa | 3 | 147 | 49.00 |
| | | 機能維持 | 原子炉建屋換気系(ダクト)放射線モニタ(RE-D17-N009AB,C,D) | 応答加速度(水平) | G | 1.74 | 3 | 1.72 |
| V-2-8-2-5 | フィルタ装置出口放射線モニタ(低レンジ)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 2 | 168 | 84.00 |
| | | 機能維持 | フィルタ装置出口放射線モニタ(低レンジ) | 応答加速度(水平) | G | 0.95 | 3 | 3.15 |
| V-2-8-2-6 | フィルタ装置出口放射線モニタ(高レンジ)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 2 | 168 | 84.00 |
| | | 機能維持 | フィルタ装置出口放射線モニタ(高レンジ) | 応答加速度(水平) | G | 1.29 | 3 | 2.32 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (16/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|---|------|-------------------------|-----------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-8-2-7 | 耐圧強化ベント系放射線モニタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 14 | 147 | 10.50 |
| | | 機能維持 | 耐圧強化ベント系放射線モニタ | 応答加速度(水平) | G | 1.4 | 3 | 2.14 |
| V-2-8-2-8 | 使用済燃料プールエリア放射線モニタ(低レンジ)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 3 | 156 | 52.00 |
| | | 機能維持 | 使用済燃料プールエリア放射線モニタ(低レンジ) | 応答加速度(水平) | G | 1.74 | 3 | 1.72 |
| V-2-8-2-9 | 使用済燃料プールエリア放射線モニタ(高レンジ)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 3 | 156 | 52.00 |
| | | 機能維持 | 使用済燃料プールエリア放射線モニタ(高レンジ) | 応答加速度(水平) | G | 1.74 | 3 | 1.72 |
| V-2-8-3-1-1 | 中央制御室換気系ダクトの耐震性について計算書 | 構造強度 | 支持架構 | 組合応力 | MPa | 141 | 280 | 1.98 |
| V-2-8-3-1-2 | 中央制御室換気系空調機ファン、中央制御室換気系フィルタ系ファンの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 64 | 184 | 2.87 |
| | | 機能維持 | ファン原動機 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.98 | 1 | 1.02 |
| V-2-8-3-1-3 | 中央制御室換気系フィルタユニットの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 43 | 190 | 4.41 |
| V-2-8-3-2-1 | 管の耐震性についての計算書(中央制御室退避室) | 構造強度 | MCRS-1 | 一次応力 | MPa | 244 | 468 | 1.91 |
| V-2-8-3-2-2 | 中央制御室待避室差圧の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 4 | 168 | 42.00 |
| | | 機能維持 | 中央制御室待避室差圧 | 応答加速度(水平) | G | 1.34 | 3 | 2.23 |
| V-2-8-3-3-1 | 緊急時対策所換気系ダクトの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 溶接部 | 組合応力 | MPa | 125 | 141 | 1.12 |
| V-2-8-3-3-2 | 管の耐震性についての計算書(緊急時対策所換気系) | 構造強度 | HAPS-001 | 一次応力 | MPa | 216 | 431 | 1.99 |
| V-2-8-3-3-3 | 緊急時対策所非常用送風機の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 73 | 153 | 2.09 |
| | | 機能維持 | ファン原動機 | 応答加速度(鉛直) | G | 1 | 1 | 1.00 |
| V-2-8-3-3-4 | 緊急時対策所非常用フィルタ装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 33 | 118 | 3.57 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (17/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-------------|----------------------------------|------|-------------------------------------|----------------|-------------------|---------|-------|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-8-3-3-5 | 緊急時対策所用差圧の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 8 | 168 | 21.00 |
| | | 機能維持 | 緊急時対策所用差圧 | 応答加速度 (水平) | G | 1.35 | 3 | 2.22 |
| V-2-8-3-4-1 | 管の耐震性についての計算書 (第二弁操作室) | 構造強度 | PCVVCC-1 | 一次応力 | MPa | 213 | 468 | 2.19 |
| V-2-8-3-4-2 | 第二弁操作室差圧の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 5 | 168 | 33.60 |
| | | 機能維持 | 第二弁操作室差圧 | 応答加速度 (水平) | G | 1.55 | 3 | 1.93 |
| V-2-9-2-1 | 原子炉格納容器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | P6: 底部のフランジブ レートとの接合部 | 座屈 | - | 0.98 | 1 | 1.02 |
| V-2-9-2-3 | 上部シアラグ及びスタビライザの耐震性についての計算書 | 構造強度 | シアプレート | 組合応力 | MPa | 259 | 275 | 1.06 |
| V-2-9-2-4 | 下部シアラグ及びダイヤフラムブラケットの耐震性についての計算書 | 構造強度 | シアプレート | 組合応力 | MPa | 219 | 275 | 1.25 |
| V-2-9-2-5 | 原子炉格納容器胴アンカ部の耐震性についての計算書 | 構造強度 | ベースプレート | 曲げ応力 (引張側) | MPa | 256 | 317 | 1.23 |
| V-2-9-2-6 | 機器搬入用ハッチの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ドライウェル円筒胴と補 強板との接合部 | 疲労評価 | - | 0.57 | 1 | 1.75 |
| V-2-9-2-7 | 所員用エアロックの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ドライウェル円筒胴と補 強板との接合部 | 疲労評価 | - | 0.056 | 1 | 17.85 |
| V-2-9-2-8 | サブプレッション・チェンバアクセスハッチの耐震性についての計算書 | 構造強度 | サブプレッションチェンバ 円筒胴と補強板との接 合部 | 疲労評価 | - | 0.428 | 1 | 2.33 |
| V-2-9-2-9 | 配管貫通部の耐震性についての計算書 | 構造強度 | X-31 (P1原子炉格納容 器胴とスリーブとの接 合部) | 一次膜+一次曲げ応 力 | MPa | 267 | 348 | 1.30 |
| V-2-9-2-10 | 電気配線貫通部の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 格納容器胴とスリーブ との接合部 | 疲労評価 | - | 0.378 | 1 | 2.64 |
| V-2-9-2-11 | サブプレッション・チェンバ底部ライナ部の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 底部ライナ部P2周辺部 | 膜ひずみ | - | 0.00044 | 0.003 | 6.81 |
| V-2-9-3-2 | 原子炉建屋大物搬入口の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 押し込みローラ部ベア リング | 支圧 | MPa | 648 | 663 | 1.02 |
| V-2-9-3-3 | 原子炉建屋エアロックの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ヒンジピン | 組合応力 | MPa | 189 | 530 | 2.80 |
| V-2-9-4-1 | ダイヤフラム・フロアの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 柱 | 圧縮応力 | N/mm ² | 117.2 | 144 | 1.22 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (18/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|---------------|----------------------------------|------|---------------------------|---------------|-----|--------|-------|------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-9-4-2 | ベント管の耐震性についての計算書 | 構造強度 | ブレージング部 | 一次応力 | MPa | 291 | 380 | 1.30 |
| V-2-9-4-3-1 | 格納容器スプレイヘッダの耐震性についての計算書 | 構造強度 | スプレイヘッダ(サブ レクションチェンバ側) | 一次応力 | MPa | 41 | 339 | 8.26 |
| V-2-9-4-3-2-1 | 管の耐震性についての計算書 (代替格納容器スプレイ冷却系) | 構造強度 | RHR-34,37,38,39,50 | 一次応力 | MPa | 128 | 363 | 2.83 |
| V-2-9-4-3-3-1 | 管の耐震性についての計算書 (代替循環冷却系) | 構造強度 | ARC-2 | 一次応力 | MPa | 186 | 365 | 1.96 |
| V-2-9-4-3-4-1 | 管の耐震性についての計算書 (格納容器下部冷却系) | 構造強度 | FR-R-1 | 一次応力 | MPa | 183 | 366 | 2.00 |
| V-2-9-4-3-5-1 | 管の耐震性についての計算書 (ベデスタル排水系) | 構造強度 | ML-228-1 | 一次応力 | MPa | 83 | 396 | 4.77 |
| V-2-9-4-3-5-2 | 付属設備の耐震性の計算書 | 構造強度 | 導入管カバー | 組合応力 | MPa | 76 | 117 | 1.53 |
| V-2-9-5-1-1 | 管の耐震性についての計算書 (非常用ガス再循環系) | 構造強度 | FRVS-7 | 一次応力 | MPa | 198 | 343 | 1.73 |
| | | 機能維持 | SB2-5E | 応答加速度 (鉛直) | G | 6 | 6 | 1.00 |
| V-2-9-5-1-2 | 非常用ガス再循環系排風機の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 107 | 202 | 1.88 |
| | | 機能維持 | ファン 原動機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 1 | 1 | 1.00 |
| V-2-9-5-1-3 | 非常用ガス再循環系フィルトレインの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 振付ボルト | 引張応力 | MPa | 82 | 179 | 2.18 |
| V-2-9-5-2-1 | 管の耐震性についての計算書 (非常用ガス処理系) | 構造強度 | AC-SGTS | 一次応力 | MPa | 140 | 335 | 2.39 |
| | | 機能維持 | SB2-11A | 応答加速度 (水平) | G | 2 | 6 | 3.00 |
| V-2-9-5-2-2 | 非常用ガス処理系排風機の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 排風機取付ボルト | 引張応力 | MPa | 96 | 195 | 2.03 |
| | | 機能維持 | ファン 原動機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 1 | 1 | 1.00 |
| V-2-9-5-2-3 | 非常用ガス処理系フィルトレインの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 103 | 202 | 1.96 |
| V-2-9-5-2-4 | ブローアウトパネル閉止装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | チェーン | 引張荷重 | N | 43800 | 43830 | 1.00 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (19/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|--------------|---------------------------------|------|---------------------|---------------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-9-5-3-1 | 管の耐震性についての計算書 (可燃性ガス濃度制御系) | 構造強度 | FC-2 | 一次応力 | MPa | 133 | 339 | 2.54 |
| V-2-9-5-3-2 | 可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロウの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ベース取付溶接部 | せん断応力 | MPa | 32 | 62 | 1.93 |
| | | 機能維持 | ブロウ 原動機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.84 | 1 | 1.19 |
| V-2-9-5-3-3 | 可燃性ガス濃度制御系再結合装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | せん断応力 | MPa | 38 | 134 | 3.52 |
| V-2-9-5-4-1 | 低圧マニホールドの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 脚 | 組合応力 | MPa | 19 | 276 | 14.52 |
| V-2-9-5-4-2 | 管の耐震性についての計算書 (主蒸気隔離弁漏えい抑制系) | 構造強度 | MSIV-10,13,14,16,19 | 一次応力 | MPa | 146 | 363 | 2.48 |
| V-2-9-5-4-3 | 主蒸気隔離弁漏えい抑制系ブロウの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 共通ベースボルト | 引張応力 | MPa | 37 | 444 | 12.00 |
| V-2-9-5-5-1 | 静的触媒式水素再結合器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 本体 | 組合応力 | MPa | 121 | 171 | 1.41 |
| V-2-9-5-6-1 | 管の耐震性についての計算書 (窒素ガス代替注入系) | 構造強度 | ANI-7 | 一次応力 | MPa | 244 | 367 | 1.50 |
| V-2-9-6-1-1 | 管の耐震性についての計算書 (不活性ガス系) | 構造強度 | AC-11 | 一次応力 | MPa | 193 | 363 | 1.88 |
| | | 機能維持 | 2-26B-12 | 応答加速度 (水平) | G | 5.4 | 6 | 1.11 |
| V-2-9-7-1-1 | 管の耐震性についての計算書 (格納容器圧力逃がし装置) | 構造強度 | RCIC-32 | 一次応力 | MPa | 197 | 363 | 1.84 |
| V-2-9-7-1-2 | フィルタ装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | スカート | 組合応力 | MPa | 50 | 194 | 3.88 |
| V-2-9-7-1-3 | 移送ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 7 | 184 | 26.28 |
| | | 機能維持 | ポンプ | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.5 | 1 | 2.00 |
| V-2-10-1-2-1 | 非常用ディーゼル発電装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 反直結側軸受台部 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 82 | 182 | 2.21 |
| | | 機能維持 | 発電機 機関 ガバナ | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.75 | 1 | 1.33 |
| V-2-10-1-2-2 | 非常用ディーゼル発電機空気だめの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 61 | 159 | 2.60 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (20/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|--------------|--------------------------------------|------|--------------|-----------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-10-1-2-3 | 非常用ディーゼル発電機燃料油デイトクの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 72 | 159 | 2.20 |
| V-2-10-1-2-4 | 非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 4 | 142 | 35.50 |
| | | 機能維持 | 逃し弁 | 応答加速度(水平) | G | 0.81 | 1 | 1.23 |
| V-2-10-1-2-5 | 軽油貯蔵タンクの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 78 | 153 | 1.96 |
| V-2-10-1-2-6 | 非常用ディーゼル発電機制御盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 49 | 210 | 4.28 |
| | | 機能維持 | 制御盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.77 | 1 | 1.29 |
| V-2-10-1-2-7 | 非常用ディーゼル発電機用海水ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | サポート | 曲げ応力 | MPa | 63 | 210 | 3.33 |
| | | 機能維持 | ポンプ原動機 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.96 | 1 | 1.16 |
| V-2-10-1-2-8 | 非常用ディーゼル発電機用海水ストレナの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 77 | 207 | 2.68 |
| V-2-10-1-2-9 | 管の耐震性についての計算書 | 構造強度 | DGSW-038R1F | 一次応力 | MPa | 120 | 366 | 3.05 |
| V-2-10-1-3-1 | 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 反直結側受台部基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 98 | 182 | 1.85 |
| | | 機能維持 | 発電機機関ガバナ | 応答加速度(鉛直) | G | 0.75 | 1 | 1.33 |
| V-2-10-1-3-2 | 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機空気ための耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 61 | 159 | 2.60 |
| V-2-10-1-3-3 | 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機燃料油デイトクの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 45 | 159 | 3.53 |
| V-2-10-1-3-4 | 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機燃料移送ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 4 | 142 | 35.50 |
| | | 機能維持 | 逃し弁原動機 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.71 | 1 | 1.40 |
| V-2-10-1-3-5 | 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機制御盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 49 | 210 | 4.28 |
| | | 機能維持 | 制御盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.77 | 1 | 1.29 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (21/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|----------------|---|------|-------------|-----------|-----|--------|------|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-10-1-3-6 | 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機用海水ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | サポート | 曲げ応力 | MPa | 32 | 210 | 6.56 |
| | | 機能維持 | ポンプ原動機 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.86 | 1 | 1.16 |
| V-2-10-1-3-7 | 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機用海水ストレーナの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 77 | 207 | 2.68 |
| V-2-10-1-3-8 | 管の耐震性についての計算書 | 構造強度 | DGSW-019R1F | 一次応力 | MPa | 81 | 368 | 4.54 |
| V-2-10-1-4-1-1 | 常設代替高圧電源装置内燃機関(No.1~No.5)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | フレーム | 組合応力 | MPa | 310 | 342 | 1.10 |
| | | 機能維持 | 車両内燃機関 | 応答加速度(水平) | G | 0.46 | 1.37 | 2.97 |
| V-2-10-1-4-1-2 | 常設代替高圧電源装置内燃機関(No.6)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | フレーム | 組合応力 | MPa | 367 | 399 | 1.08 |
| | | 機能維持 | 車両ディーゼル機関 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.42 | 1.14 | 2.71 |
| V-2-10-1-4-2-1 | 常設代替高圧電源装置燃料油サービスタンク(No.1~No.5)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 胴板 | 組合応力 | MPa | 137 | 236 | 1.72 |
| V-2-10-1-4-2-2 | 常設代替高圧電源装置燃料油サービスタンク(No.6)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 胴板 | 組合応力 | MPa | 177 | 236 | 1.33 |
| V-2-10-1-4-3 | 常設代替高圧電源装置燃料移送ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 4 | 142 | 35.50 |
| V-2-10-1-4-4-1 | 常設代替高圧電源装置発電機(No.1~No.5)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 組合応力 | MPa | 276 | 499 | 1.80 |
| | | 機能維持 | 発電機 | 応答加速度(水平) | G | 0.46 | 1.37 | 2.97 |
| V-2-10-1-4-4-2 | 常設代替高圧電源装置発電機(No.6)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 237 | 525 | 2.21 |
| | | 機能維持 | 発電機 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.42 | 1.14 | 2.71 |
| V-2-10-1-4-5-1 | 常設代替高圧電源装置制御盤(No.1~No.5)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 42 | 525 | 12.50 |
| | | 機能維持 | 制御盤 | 応答加速度(水平) | G | 0.46 | 1.37 | 2.97 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (22/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|----------------|---------------------------------|------|---------------|---------------|-----|--------|------|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-10-1-4-5-2 | 常設代替高圧電源装置制御盤(No.6)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 64 | 525 | 8.20 |
| | | 機能維持 | 発電機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.42 | 1.14 | 2.71 |
| V-2-10-1-4-6 | 管の耐震性についての計算書 (常設代替高圧電源装置) | 構造強度 | C-01-1360-107 | 一次応力 | MPa | 66 | 446 | 6.75 |
| V-2-10-1-5-1 | 緊急時対策所用発電機内燃機関の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 122 | 210 | 1.72 |
| V-2-10-1-5-2 | 緊急時対策所用発電機燃料油サービスタンの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 18 | 210 | 11.66 |
| V-2-10-1-5-3 | 緊急時対策所用発電機給油ポンプの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ポンプ取付ボルト | 引張応力 | MPa | 12 | 207 | 17.25 |
| | | 機能維持 | 逃し弁 | 応答加速度 (水平) | G | 0.65 | 1 | 1.53 |
| V-2-10-1-5-4 | 緊急時対策所用発電機燃料油貯蔵タンクの耐震性についての計算書 | 構造強度 | ポンプ取付ボルト | 引張応力 | MPa | 264 | 487 | 1.84 |
| V-2-10-1-5-5 | 緊急時対策所用発電機の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 81 | 210 | 2.59 |
| | | 機能維持 | 緊急時対策所用発電機 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.55 | 1 | 1.81 |
| V-2-10-1-5-6 | 緊急時対策所用発電機制御盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 147 | 385 | 2.61 |
| | | 機能維持 | 緊急時対策所用発電機制御盤 | 応答加速度 (水平) | G | 0.65 | 1.3 | 2.00 |
| V-2-10-1-6-1 | 非常用無停電電源装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 67 | 168 | 2.50 |
| | | 機能維持 | 非常用無停電電源装置 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.8 | 3 | 3.75 |
| V-2-10-1-6-2 | 緊急用無停電電源装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 67 | 168 | 2.50 |
| | | 機能維持 | 緊急用無停電電源装置 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.8 | 3 | 3.75 |
| V-2-10-1-6-3 | 125V系蓄電池A系/B系の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 42 | 165 | 3.92 |
| V-2-10-1-6-4 | 125V系蓄電池 HPCS系の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 66 | 165 | 2.50 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (23/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|--------------|-----------------------------|------|---------------------|---------------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-10-1-6-5 | 中性子モニタ用蓄電池の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 23 | 165 | 7.17 |
| V-2-10-1-6-6 | 緊急用125V系蓄電池の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 42 | 165 | 3.92 |
| V-2-10-1-6-7 | 緊急時対策所用125V系蓄電池の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 37 | 210 | 5.67 |
| V-2-10-1-7-1 | メタルクラッド開閉装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 25 | 210 | 8.40 |
| | | 機能維持 | メタルクラッド開閉装置 2D | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.8 | 1 | 1.25 |
| V-2-10-1-7-2 | パワーセンタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 43 | 210 | 4.88 |
| | | 機能維持 | パワーセンタ2D | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.8 | 1 | 1.25 |
| V-2-10-1-7-3 | モータコントロールセンタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 37 | 190 | 5.13 |
| | | 機能維持 | MCC 2C-9 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.98 | 1 | 1.02 |
| V-2-10-1-7-4 | 動力変圧器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 92 | 210 | 2.28 |
| V-2-10-1-7-5 | 緊急用断路器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 27 | 210 | 7.77 |
| V-2-10-1-7-6 | 緊急用メタルクラッド開閉装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 22 | 210 | 9.54 |
| | | 機能維持 | 緊急用メタルクラッド開閉装置 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.59 | 2 | 3.38 |
| V-2-10-1-7-7 | 緊急用動力変圧器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 16 | 210 | 13.12 |
| V-2-10-1-7-8 | 緊急用パワーセンタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 29 | 210 | 7.24 |
| | | 機能維持 | 緊急用パワーセンタ | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.59 | 2 | 3.38 |
| V-2-10-1-7-9 | 緊急用モータコントロールセンタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 63 | 168 | 2.66 |
| | | 機能維持 | 緊急用モータコントロールセンタ1, 2 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.8 | 2 | 2.50 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (24/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|---------------|-----------------------------------|------|-----------------------|-----------|-----|--------|-----|------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-10-1-7-10 | 緊急用計装交流主母線盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 71 | 168 | 2.36 |
| | | 機能維持 | 緊急用計装交流主母線盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.8 | 2 | 2.50 |
| V-2-10-1-7-11 | 緊急用電源切替盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 90 | 156 | 1.73 |
| | | 機能維持 | 緊急用交流電源切替盤B | 応答加速度(鉛直) | G | 1 | 2 | 2.00 |
| V-2-10-1-7-12 | 緊急用無停電計装分電盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 23 | 113 | 4.91 |
| | | 機能維持 | 緊急用無停電計装分電盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.83 | 3 | 3.61 |
| V-2-10-1-7-13 | 緊急用直流125V充電器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 61 | 168 | 2.75 |
| | | 機能維持 | 緊急用直流125V充電器 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.8 | 1 | 1.25 |
| V-2-10-1-7-14 | 緊急用直流125V主母線盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 32 | 168 | 5.25 |
| | | 機能維持 | 緊急用直流125V主母線盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.8 | 2 | 2.50 |
| V-2-10-1-7-15 | 緊急用直流125Vモータコントロールセンタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 62 | 168 | 2.70 |
| | | 機能維持 | 緊急用直流125Vモータコントロールセンタ | 応答加速度(鉛直) | G | 0.83 | 2 | 2.40 |
| V-2-10-1-7-16 | 緊急用直流125V計装分電盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 53 | 138 | 2.60 |
| | | 機能維持 | 緊急用直流125V計装分電盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.83 | 3 | 3.61 |
| V-2-10-1-7-17 | 常設代替高圧電源装置遠隔操作盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 37 | 210 | 5.67 |
| | | 機能維持 | 常設代替高圧電源装置遠隔操作盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.84 | 5 | 5.95 |
| V-2-10-1-7-18 | 緊急時対策所用メタルクラッド開閉装置の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 46 | 210 | 4.56 |
| | | 機能維持 | 緊急時対策所用メタルクラッド開閉装置 | 応答加速度(鉛直) | G | 1.17 | 2 | 1.70 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (25/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|---------------|---------------------------------|------|---------------------|-----------|-----|--------|------|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-10-1-7-19 | 緊急時対策所用動力変圧器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 90 | 210 | 2.33 |
| V-2-10-1-7-20 | 緊急時対策所用パワーセンタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 40 | 210 | 5.25 |
| | | 機能維持 | 緊急時対策所用パワーセンタ | 応答加速度(鉛直) | G | 1.17 | 1.64 | 1.40 |
| V-2-10-1-7-21 | 緊急時対策所用モータコントロールセンタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 31 | 210 | 6.77 |
| | | 機能維持 | 緊急時対策所用モータコントロールセンタ | 応答加速度(鉛直) | G | 1.17 | 2 | 1.70 |
| V-2-10-1-7-22 | 緊急時対策所用100V分電盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 10 | 210 | 21.00 |
| | | 機能維持 | 緊急時対策所用100V分電盤2-2 | 応答加速度(鉛直) | G | 1.17 | 2 | 1.70 |
| V-2-10-1-7-23 | 緊急時対策所用直流125V主母線盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 32 | 210 | 6.56 |
| | | 機能維持 | 緊急時対策所用直流125V主母線盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 1.17 | 1.64 | 1.40 |
| V-2-10-1-7-24 | 緊急時対策所用直流125V分電盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 31 | 210 | 6.77 |
| | | 機能維持 | 緊急時対策所用直流125V分電盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 1.17 | 2 | 1.70 |
| V-2-10-1-7-25 | 緊急時対策所用災害対策本部操作盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 14 | 210 | 15.00 |
| | | 機能維持 | 緊急時対策所用災害対策本部操作盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 1.14 | 2 | 1.75 |
| V-2-10-1-7-26 | 緊急時対策所用非常用換気空調設備操作盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 28 | 210 | 7.50 |
| | | 機能維持 | 制御盤他 | 応答加速度(鉛直) | G | 1.14 | 2 | 1.75 |
| V-2-10-1-7-27 | 可搬型代替低圧電源車接続盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 56 | 168 | 3.00 |
| V-2-10-1-7-28 | 可搬型代替直流電源設備用電源切替盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 28 | 168 | 6.00 |
| | | 機能維持 | 可搬型代替直流電源設備用電源切替盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 08 | 2 | 2.50 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (26/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|---------------|------------------------------------|------|------------------------|-----------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-10-1-7-29 | 可搬型整流器用変圧器の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 75 | 168 | 2.24 |
| | | 機能維持 | 可搬型整流器用変圧器(東側) | 応答加速度(鉛直) | G | 0.8 | 2 | 2.50 |
| V-2-10-1-7-30 | 直流125V主母線盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 44 | 210 | 4.77 |
| | | 機能維持 | 直流125V主母線盤2A, 2B | 応答加速度(鉛直) | G | 0.8 | 2 | 2.50 |
| V-2-10-1-7-31 | 直流125Vモータコントロールセンタの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 42 | 190 | 4.52 |
| | | 機能維持 | 直流125Vモータコントロールセンタ2A-2 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.98 | 2 | 2.04 |
| V-2-10-1-7-32 | 非常用無停電計装分電盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 25 | 147 | 5.88 |
| | | 機能維持 | 非常用無停電計装分電盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.93 | 3 | 3.61 |
| V-2-10-1-7-33 | 直流125V主母線盤HPCSの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 35 | 210 | 6.00 |
| | | 機能維持 | 直流125V主母線盤HPCS | 応答加速度(鉛直) | G | 0.8 | 2 | 2.50 |
| V-2-10-1-7-34 | 直流±24V中性子モニター用分電盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 取付ボルト | せん断応力 | MPa | 3 | 148 | 49.33 |
| | | 機能維持 | 直流±24V中性子モニター用分電盤 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.93 | 1 | 1.20 |
| V-2-10-2-4 | 構内排水路逆流防止設備の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 扉体部(ヒンジ) | 曲げ応力 | MPa | 96 | 135 | 1.40 |
| V-2-10-2-5-1 | 取水路点検用開口部浸水防止蓋の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 蓋 | 組合応力 | MPa | 8 | 204 | 25.50 |
| V-2-10-2-5-2 | 放水路ゲート点検用開口部浸水防止蓋の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 主桁(中間桁) | 組合応力 | MPa | 5 | 237 | 47.40 |
| V-2-10-2-5-3 | SA用海水ビット開口部浸水防止蓋の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 固定ボルト | 組合応力 | MPa | 6 | 148 | 24.66 |
| V-2-10-2-5-4 | 緊急用海水ポンプビット点検用開口部浸水防止蓋の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 主桁(中間桁) | 組合応力 | MPa | 4 | 137 | 34.25 |
| V-2-10-2-5-5 | 緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 固定ボルト | せん断応力 | MPa | 7 | 90 | 12.85 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (27/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|---------------|--------------------------------------|------|---------------------------|-----------|-----|--------|-----|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-10-2-5-6 | 緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 主桁(中間桁) | 組合応力 | MPa | 5 | 165 | 33.00 |
| V-2-10-2-5-7 | 格納容器圧力逃がし装置格納槽点検用水密ハッチの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 上蓋 | 組合応力 | MPa | 13 | 204 | 15.69 |
| V-2-10-2-5-8 | 常設低圧代替注水系格納槽点検用水密ハッチの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 上蓋 | 組合応力 | MPa | 18 | 204 | 11.33 |
| V-2-10-2-5-9 | 常設低圧代替注水系格納槽可搬型ポンプ用水密ハッチの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 上蓋 | 組合応力 | MPa | 11 | 204 | 18.54 |
| V-2-10-2-5-10 | 海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 4 | 117 | 29.25 |
| V-2-10-2-6-1 | 海水ポンプグランド dren 排出口逆止弁の耐震性についての計算書 | 構造強度 | フローガイド | 組合応力 | MPa | 3 | 132 | 44.00 |
| | | 機能維持 | 逆止弁 | 応答加速度(水平) | G | 0.91 | 6 | 6.59 |
| V-2-10-2-6-2 | 取水ピット空気抜き配管逆止弁の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 弁蓋ボルト | 引張応力 | MPa | 4 | 130 | 32.50 |
| | | 機能維持 | 逆止弁 | 応答加速度(水平) | G | 0.91 | 6 | 6.59 |
| V-2-10-2-6-3 | 緊急用海水ポンプグランド dren 排出口逆止弁の耐震性についての計算書 | 構造強度 | フローガイド | 組合応力 | MPa | 4 | 129 | 32.25 |
| | | 機能維持 | 逆止弁 | 応答加速度(水平) | G | 1.25 | 6 | 4.80 |
| V-2-10-2-6-4 | 緊急用海水ポンプ室床 dren 排出口逆止弁の耐震性についての計算書 | 構造強度 | フローガイド | 組合応力 | MPa | 4 | 129 | 32.25 |
| | | 機能維持 | 逆止弁 | 応答加速度(水平) | G | 1.25 | 6 | 4.80 |
| V-2-10-2-8-1 | 水密扉(浸水防止設備)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | ヒンジ部(板) | せん断応力 | MPa | 127 | 205 | 1.61 |
| V-2-10-2-8-2 | 水密扉(溢水防護設備)の耐震性についての計算書 | 構造強度 | ヒンジアーム | 組合応力 | MPa | 56 | 215 | 3.83 |
| V-2-10-2-9-1 | 津波・構内監視カメラの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 78 | 123 | 1.57 |
| | | 機能維持 | 津波・構内監視カメラ 緊急時対策所監視モニタ | 応答加速度(鉛直) | G | 1.14 | 1.5 | 1.31 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (28/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|--------------|---|------|---------------------|---------------|-----|--------|------|--------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-10-2-9-2 | 潮位計の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト (潮位計(検出器)) | 引張 | MPa | 16 | 105 | 6.56 |
| | | 機能維持 | 潮位計 (潮位監視盤) | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.98 | 1.5 | 1.53 |
| V-2-10-2-9-3 | 取水ピット水位計の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | せん断応力 | MPa | 1 | 135 | 135.00 |
| | | 機能維持 | 取水ピット水位計 検出器 | 応答加速度 (水平) | G | 0.92 | 2 | 2.17 |
| V-2-10-2-10 | 溢水拡大防止堰及び止水板の耐震性についての計算書 | 構造強度 | アンカーボルト | 引張荷重 | N | 2900 | 7664 | 2.64 |
| V-2-10-2-11 | 管理区域外伝播防止堰の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 鉄筋 | せん断荷重 | N/本 | 0.266 | 4.18 | 15.71 |
| V-2-10-3-2 | 可搬型設備用軽油タンクの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 基礎ボルト | 引張応力 | MPa | 105 | 488 | 4.64 |
| V-2-別添3-3 | 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性について計算書 (可搬型代替注水大型ポンプ) | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 115 | 451 | 3.92 |
| | | 機能維持 | 可搬型代替注水大型 ポンプ | 応答加速度 (水平) | G | 1.08 | 1.52 | 1.40 |
| | 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性について計算書 (可搬型代替注水中型ポンプ) | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 141 | 178 | 1.26 |
| | | 機能維持 | 可搬型代替注水中型 ポンプ | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.58 | 0.89 | 1.53 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (29/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|---|---|--------|--------------------|---------------|------|--------|------|------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-別添3-3 | 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性について計算書 (可搬型代替低圧電源車) | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 146 | 210 | 1.43 |
| | | 機能維持 | 可搬型代替低圧電源車 | 応答加速度 (水平) | G | 1.08 | 1.52 | 1.40 |
| | 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性について計算書 (窒素供給装置用電源車) | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 146 | 210 | 1.43 |
| | | 機能維持 | 窒素供給装置用電源車 | 応答加速度 (水平) | G | 1.08 | 1.52 | 1.40 |
| | 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性について計算書 (窒素供給装置) | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 130 | 350 | 1.94 |
| | | 機能維持 | 窒素供給装置 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.58 | 0.9 | 1.55 |
| 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震性について計算書 (タンクローリ) | 構造強度 | 取付ボルト | 引張応力 | MPa | 27 | 210 | 7.77 | |
| | 機能維持 | タンクローリ | 応答加速度 (水平) | G | 1.08 | 1.5 | 1.38 | |
| V-2-別添3-4 | 可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震性について計算書 (非常用窒素供給系高圧窒素ポンベユニット) 可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震性について計算書 (中央制御室退避室空気ポンベユニット) 可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震性について計算書 (第二弁操作室空気ポンベユニット) 可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震性について計算書 (緊急時対策所加圧設備) | 構造強度 | 溶接部 | せん断応力 | MPa | 13 | 70 | 5.38 |
| | | 構造強度 | 溶接部 | せん断応力 | MPa | 15 | 70 | 4.66 |
| | | 構造強度 | 溶接部 | せん断応力 | MPa | 9 | 71 | 7.88 |
| | | 構造強度 | ポンベカードルフレーム | 組合応力 | MPa | 99 | 276 | 2.78 |
| V-2-別添3-5 | 可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震性について計算書 | 機能維持 | 緊急時対策所エリアモニタ | 応答加速度 (水平) | G | 0.55 | 1.93 | 2.96 |
| | | 機能維持 | 可搬型モニタリング・ポスト | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.55 | 1.61 | 2.92 |
| | | 機能維持 | 可搬型モニタリング・ポスト端末 | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.55 | 1.61 | 2.92 |
| V-2-別添3-5 | 可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震性について計算書 | 機能維持 | 可搬型ダスト・よう素サンブラ | 応答加速度 (鉛直) | G | 0.55 | 1.61 | 2.92 |
| | | 機能維持 | β線サーベイメータ | 応答加速度 (水平) | G | 0.55 | 1.93 | 2.96 |
| | | 機能維持 | NaIシンチレーションサーベイメータ | 応答加速度 (水平) | G | 0.55 | 1.93 | 2.96 |

4. 耐震評価結果一覧 ① 機器・配管系 (30/30)



| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|-----------|---------------------------------|------|-------------------------|-----------|----|--------|------|------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 裕度 |
| V-2-別添3-5 | 可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震性について計算書 | 機能維持 | ZnSシンチレーションサーベイ・メータ | 応答加速度(水平) | G | 0.55 | 1.93 | 2.96 |
| | | 機能維持 | 電離箱サーベイ・メータ | 応答加速度(水平) | G | 0.55 | 1.93 | 2.96 |
| | | 機能維持 | 可搬型気象観測設備 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.55 | 1.61 | 2.92 |
| | | 機能維持 | 可搬型気象観測設備 端末 | 応答加速度(鉛直) | G | 0.55 | 1.61 | 2.92 |
| | | 機能維持 | 可搬型計測器(温度、圧力、水位及び流量)計測用 | 応答加速度(水平) | G | 0.31 | 1.84 | 2.27 |
| | | 機能維持 | 可搬型計測器(圧力、水位及び流量計測用) | 応答加速度(水平) | G | 0.31 | 1.84 | 2.27 |
| | | 機能維持 | 酸素濃度計 | 応答加速度(水平) | G | 0.31 | 1.84 | 2.27 |
| | | 機能維持 | 二酸化炭素濃度計 | 応答加速度(水平) | G | 0.31 | 1.84 | 2.27 |
| | | 機能維持 | データ表示装置(退避室) | 応答加速度(水平) | G | 0.31 | 1.84 | 2.27 |
| | | 機能維持 | 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 | 応答加速度(水平) | G | 0.31 | 1.84 | 2.27 |
| | | 機能維持 | 衛星電話設備(携帯型) | 応答加速度(水平) | G | 0.67 | 1.77 | 2.64 |
| | | 機能維持 | 無線連絡設備(携帯型) | 応答加速度(水平) | G | 0.67 | 1.77 | 2.64 |
| | | 機能維持 | 携行型有線通話装置 | 応答加速度(水平) | G | 0.31 | 1.77 | 2.18 |
| | | 機能維持 | 衛星電話設備(可搬型)(退避室) | 応答加速度(水平) | G | 0.31 | 1.79 | 2.20 |
| | | 機能維持 | 可搬型照明(SA) | 応答加速度(鉛直) | G | 0.91 | 1.77 | 1.94 |
| | | 機能維持 | 可搬型整流器 | 応答加速度(水平) | G | 1.08 | 1.97 | 1.82 |
| | | 機能維持 | 小型船舶 | 応答加速度(水平) | G | 1.08 | 2.13 | 1.97 |

4. 耐震評価結果一覧 ② 建物・構築物



○ 建物・構築物について基準地震動Ssにおける発生値が許容値に収まることを確認した。

| 目録番号 | 目録名称 | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 単位 | 耐震評価結果 | | |
|------------|--------------------------------|------|----------------|-------------------|----------------------|--------|-------|-------|
| | | | | | | 発生値 | 許容値 | 検定比 |
| V-2-2-2 | 原子炉建屋の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 耐震壁 | せん断ひずみ | $\times 10^{-3}$ | 0.6 | 2.00 | 0.300 |
| V-2-2-5 | 使用済燃料乾式貯蔵建屋の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 杭 | 曲げモーメント | kN・m/本 | 2200 | 2210 | 0.996 |
| V-2-2-11 | 緊急時対策所建屋の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 杭 | 鉛直支持力 | kN/本 | 10819 | 17224 | 0.629 |
| V-2-2-15-1 | 主排気筒の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 鉄塔(主柱材) | 軸力+曲げ | — *1 | 0.915 | 1.000 | 0.915 |
| V-2-2-15-2 | 主排気筒の基礎の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 杭 | 鉛直支持力 | kN | 8641 | 13193 | 0.655 |
| V-2-2-17 | 非常用ガス処理系配管支持架構の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 上部構造(柱) | 軸力+曲げモーメント+せん断力* | — *1 | 0.497 | 1.000 | 0.497 |
| V-2-2-19 | 格納容器圧力逃がし装置格納槽の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 耐震壁(地下外壁) | 軸力+曲げモーメント+面内せん断力 | — *2 | 0.557 | 1.000 | 0.557 |
| V-2-4-2-1 | 使用済燃料プールの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 使用済燃料プール躯体(底版) | 面外せん断力 | N/mm ² | 2.15 | 3.01 | 0.715 |
| V-2-7-2-5 | 非常用ガス処理系排気筒の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 排気筒サポート | 圧縮応力 | N/mm ² | 131.9 | 163.2 | 0.809 |
| V-2-8-4-2 | 中央制御室遮蔽の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 天井スラブ | 曲げモーメント | kN・m | 142.6 | 173 | 0.825 |
| V-2-9-2-2 | 原子炉格納容器底部コンクリートマットの耐震性についての計算書 | 構造強度 | 底部 | 軸力+曲げモーメント | N/mm ² | 1.01 | 1.06 | 0.953 |
| V-2-9-3-1 | 原子炉建屋原子炉棟の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 屋根トラス | 圧縮応力 | N/mm ² | 200 | 208 | 0.962 |
| V-2-9-3-4 | 原子炉建屋基礎盤の耐震性についての計算書 | 構造強度 | 付属棟基礎 | 軸力+曲げモーメント | $\times 10^3$ kN・m/m | 10.9 | 12.2 | 0.894 |

*1 : 鉄骨部材における組合せ応力による評価とし、許容値を1とする。
*2 : 配筋量に対する必要鉄筋量の比を発生値及び許容値として示す。

4. 耐震評価結果一覧 ③ 土木構造物 (1/4)



○ 土木構造物について基準地震動 S_s における発生値が許容限界以下であることを確認した。

| 目録番号 | 目録名称 | 耐震評価結果 | | | | | |
|------------|--------------------------------------|-----------|------------|--------------|------------------------|-------------------------|-------|
| | | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 発生値 | 許容限界 | 照査値 |
| V-2-2-7 | 取水構造物の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | せん断力 | 293 kN | 422 kN | 0.695 |
| | | | 鋼管杭 | せん断力 | 1965 kN | 2904 kN | 0.677 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 788 kN/m ² | 6581 kN/m ² | — |
| V-2-2-9 | 屋外二重管の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 管体 | 合成応力 | 97 N/mm ² | 235 N/mm ² | — |
| | | | 鋼製桁 | 曲げ軸力 | 22 N/mm ² | 210 N/mm ² | 0.11 |
| | | | 鋼管杭 | 曲げ軸力 | 275 N/mm ² | 382.5 N/mm ² | 0.72 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1563 kN/m ² | 4515 kN/m ² | — |
| V-2-2-13 | 緊急時対策所用発電機燃料油貯蔵タンク基礎の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | せん断力 | 702 kN | 1367 kN | 0.52 |
| | | | 鋼管杭 | 曲げ軸力 | 307 N/mm ² | 442.5 N/mm ² | 0.70 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1044 kN/m ² | 5383 kN/m ² | — |
| V-2-2-21 | 格納容器圧力逃がし装置用配管カルバートの耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | 曲げ軸力 (鉄筋) | 363 N/mm ² | 435 N/mm ² | 0.84 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 2190 kN/m ² | 4461 kN/m ² | — |
| V-2-2-23-1 | 常設代替高圧電源装置置場及び西側淡水貯水設備の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | 曲げ軸力 (鉄筋) | 316 N/mm ² | 435 N/mm ² | 0.73 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1809 kN/m ² | 5723 kN/m ² | — |
| V-2-2-23-2 | 常設代替高圧電源装置用カルバート(カルバート部)の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | 曲げ軸力 (鉄筋) | 299 N/mm ² | 435 N/mm ² | 0.69 |
| | | | 鋼管杭 | 曲げ軸力 | 131 N/mm ² | 367.5 N/mm ² | 0.36 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1385 kN/m ² | 5364 kN/m ² | — |

4. 耐震評価結果一覧 ③ 土木構造物 (2/4)



| 目録番号 | 目録名称 | 耐震評価結果 | | | | | |
|------------|-------------------------------------|-----------|------------|--------------|-------------------------|-------------------------|------|
| | | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 発生値 | 許容限界 | 照査値 |
| V-2-2-23-3 | 常設代替高圧電源装置用カルバート(トンネル部)の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | せん断力 | 969 kN | 1496 kN | 0.65 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 734 kN/m ² | 4596 kN/m ² | — |
| V-2-2-23-4 | 常設代替高圧電源装置用カルバート(立坑部)の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | せん断力 | 1848 kN | 2672 kN | 0.70 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1240 kN/m ² | 6139 kN/m ² | — |
| V-2-2-25 | 可搬型設備用軽油タンク基礎の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | 曲げ軸力(鉄筋) | 328 N/mm ² | 435 N/mm ² | 0.76 |
| | | | 鋼管杭 | 曲げ軸力 | 205.2 N/mm ² | 382.5 N/mm ² | 0.54 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 2366 kN/m ² | 5352 kN/m ² | — |
| V-2-2-27 | 常設低圧代替注水系ポンプ室の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | せん断力 | 4057 kN | 5538 kN | 0.74 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1865 kN/m ² | 5921 kN/m ² | — |
| V-2-2-29 | 代替淡水貯槽の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | 曲げ軸力(鉄筋) | 360 N/mm ² | 435 N/mm ² | 0.83 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1062 kN/m ² | 5921 kN/m ² | — |
| V-2-2-31 | 常設低圧代替注水系配管カルバートの耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | 曲げ軸力(鉄筋) | 234 N/mm ² | 309 N/mm ² | 0.76 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1925 kN/m ² | 4465 kN/m ² | — |
| V-2-2-33 | SA用海水ピットの耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | 曲げ軸力(コンクリート) | 205 N/mm ² | 21 N/mm ² | 0.98 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1953 kN/m ² | 6025 kN/m ² | — |
| V-2-2-35 | 緊急用海水ポンプピットの耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | 曲げ軸力(鉄筋) | 404 N/mm ² | 435 N/mm ² | 0.93 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1407 kN/m ² | 6000 kN/m ² | — |

4. 耐震評価結果一覧 ③ 土木構造物 (3/4)



| 目録番号 | 目録名称 | 耐震評価結果 | | | | | |
|--------------|--------------------------------------|-----------|-------------|--------------|------------------------|-------------------------|------|
| | | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 発生値 | 許容限界 | 照査値 |
| V-2-2-37 | 防潮堤(鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁)の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鋼管杭 | 曲げ軸力 | 253 N/mm ² | 382.5 N/mm ² | 0.67 |
| | | | 鉄筋コンクリート | 曲げ軸力(コンクリート) | 5 N/mm ² | 21 N/mm ² | 0.24 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1589 kN/m ² | 4767 kN/m ² | — |
| | | 構造物の変形性 | 止水ジョイント部材 | 相対変位量 | 1.162 m | 1.5 m | — |
| V-2-2-39-1 | 防潮堤(鉄筋コンクリート防潮壁)の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート防潮壁 | 曲げ軸力(鉄筋) | 240 N/mm ² | 435 N/mm ² | 0.56 |
| | | | フーチング | 曲げ軸力(鉄筋) | 53 N/mm ² | 435 N/mm ² | 0.13 |
| | | | 地中連続壁基礎 | 曲げ軸力(コンクリート) | 17.2 N/mm ² | 21 N/mm ² | 0.82 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 3474 kN/m ² | 6201 kN/m ² | — |
| | | 構造物の変形性 | 止水ジョイント部材 | 相対変位量 | 1.887 m | 2 m | — |
| V-2-2-39-2 | 防潮堤(鉄筋コンクリート防潮壁(放水路エリア))の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート防潮壁 | せん断力 | 2443 kN | 3245 kN | 0.76 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 3821 kN/m ² | 6371 kN/m ² | — |
| | | 構造物の変形性 | 止水ジョイント部材 | 相対変位量 | 1.256 m | 1.5 m | — |
| V-2-10-2-2-1 | 防潮堤(鋼製防護壁)の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 地中連続壁基礎 | せん断力 | 203333 kN | 226924 kN | 0.90 |
| | | | 鋼製防護壁 | 合成応力度 | 1.16 (無次元) | 1.2 (無次元) | 0.97 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 3861 kN/m ² | 6116 kN/m ² | — |
| | | 構造物の変形性 | 止水ジョイント部材 | 相対変位量 | 1.486 m | 2 m | — |

4. 耐震評価結果一覧 ③ 土木構造物 (4/4)



| 目録番号 | 目録名称 | 耐震評価結果 | | | | | |
|--------------|-------------------------|-----------|------------|-------|------------------------|-------------------------|------|
| | | 評価項目 | 評価部位 | 応力分類 | 発生値 | 許容限界 | 照査値 |
| V-2-10-4-2 | SA用海水ピット取水塔の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鉄筋コンクリート部材 | せん断力 | 751 kN | 935 kN | 0.81 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1349 kN/m ² | 5962 kN/m ² | — |
| V-2-10-4-3 | 海水引込み管の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鋼材 | 合成応力 | 55 N/mm ² | 382.5 N/mm ² | 0.15 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 962 kN/m ² | 2151 kN/m ² | — |
| V-2-10-4-4-1 | 貯留環の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鋼管矢板 | 曲げ軸力 | 294 N/mm ² | 382.5 N/mm ² | 0.77 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 1232 kN/m ² | 4899 kN/m ² | — |
| | | 構造物の変形性 | 止水ゴム | 相対変位量 | 71 cm | 105 cm | — |
| V-2-10-4-5 | 緊急用海水取水管の耐震性についての計算書 | 構造部材の健全性 | 鋼材 | 曲げ軸力 | 50 N/mm ² | 382.5 N/mm ² | 0.14 |
| | | 基礎地盤の支持性能 | 基礎地盤 | 極限支持力 | 959 kN/m ² | 2123 kN/m ² | — |

常設高圧代替注水系ポンプ

| 構造概要 | | 概略構造図 |
|---|------------------|----------------|
| 基礎・支持構造 | 主体構造 | |
| <p>ポンプはポンプベースに固定され、ポンプベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。</p> | <p>ターボ形横軸ポンプ</p> | <p>(単位:mm)</p> |

緊急用直流125V蓄電池

| 計画の概要 | | 概略構造図 | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--|----------|----------|----|----------|----------|---|-----------|-----------|----|-----------|-----------|
| 基礎・支持構造 | 主体構造 | | | | | | | | | | | | | |
| <p>緊急用 125V 系蓄電池は、取付ボルトにてチャンネルベースに固定する。チャンネルベースは基礎ボルトにて基礎に固定する。</p> | <p>直立形 (鋼製架台に固定された制御弁式据置鉛蓄電池)</p> | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>正面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>側面</p> </div> </div> <table border="1" style="margin-top: 20px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4個並び2段1列</th> <th>3個並び2段1列</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たて</td> <td>約 960 mm</td> <td>約 960 mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>約 1580 mm</td> <td>約 1240 mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>約 1230 mm</td> <td>約 1230 mm</td> </tr> </tbody> </table> | | 4個並び2段1列 | 3個並び2段1列 | たて | 約 960 mm | 約 960 mm | 横 | 約 1580 mm | 約 1240 mm | 高さ | 約 1230 mm | 約 1230 mm |
| | 4個並び2段1列 | 3個並び2段1列 | | | | | | | | | | | | |
| たて | 約 960 mm | 約 960 mm | | | | | | | | | | | | |
| 横 | 約 1580 mm | 約 1240 mm | | | | | | | | | | | | |
| 高さ | 約 1230 mm | 約 1230 mm | | | | | | | | | | | | |

可搬型代替低圧電源車

| 構造概要 | | 概略構造図 |
|---|--|-------|
| 基礎・支持構造 | 主体構造 | |
| <p>サスペンションを有し、自走にて移動できる構造とし、車両、発電機、内燃機関により構成する。</p> | <p>発電機、内燃機関は、コンテナに直接支持構造物である取付ボルトにて固定する。発電機、内燃機関を収納したコンテナは、間接支持構造物であるトラックに積載し取付ボルトにより固定し、保管場所に固定せずに保管する。</p> | |

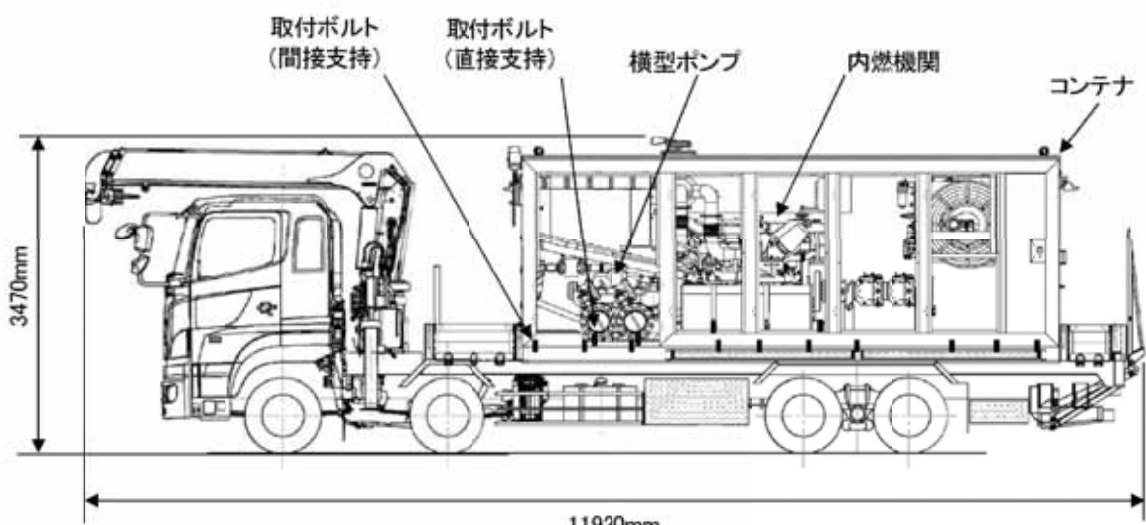
常設低圧代替注水系ポンプ

| 構造概要 | | 概略構造図 |
|---|------------------|-----------------|
| 基礎・支持構造 | 主体構造 | |
| <p>ポンプはポンプベースに固定され、ポンプベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。</p> | <p>ターボ形横軸ポンプ</p> | <p>(単位: mm)</p> |

常設代替電源装置

| 構造概要 | | 概略構造図 |
|--|---------------------------------|---|
| 基礎・支持構造 | 主体構造 | |
| <p>車載式のディーゼル発電装置で、発電機は内燃機関と共通台板に取付ボルトにて固定する。</p> | <p>防滴保護, 空気冷却自己自由通風型三相交流発電機</p> | <p>コンテナ(発電装置本体)</p> <p>コンテナ(遮断器盤)</p> <p>フレーム</p> |

可搬型代替注水大型ポンプ

| 構造概要 | | 概略構造図 |
|---|--|---|
| 基礎・支持構造 | 主体構造 | |
| <p>サスペンションを有し、自走にて移動できる構造とし、車両、ポンプ、内燃機関により構成する。</p> | <p>ポンプ、内燃機関は、コンテナに直接支持構造物である取付ボルトにて固定する。ポンプ、内燃機関を収納したコンテナは、間接支持構造物であるトラックに積載し取付ボルトにより固定し、保管場所に固定せずに保管する。</p> |  |

可搬型代替注水中型ポンプ

| 構造概要 | | 概略構造図 |
|---|--|-------|
| 基礎・支持構造 | 主体構造 | |
| <p>サスペンションを有し、自走にて移動できる構造とし、車両、内燃機関により構成する。</p> | <p>内燃機関は、コンテナに直接支持構造物である取付ボルトにて固定する。内燃機関を収納したコンテナは、間接支持構造物であるトラックに積載し取付ボルトにより固定し、保管場所に固定せずに保管する。</p> | |

残留熱除去系熱交換器

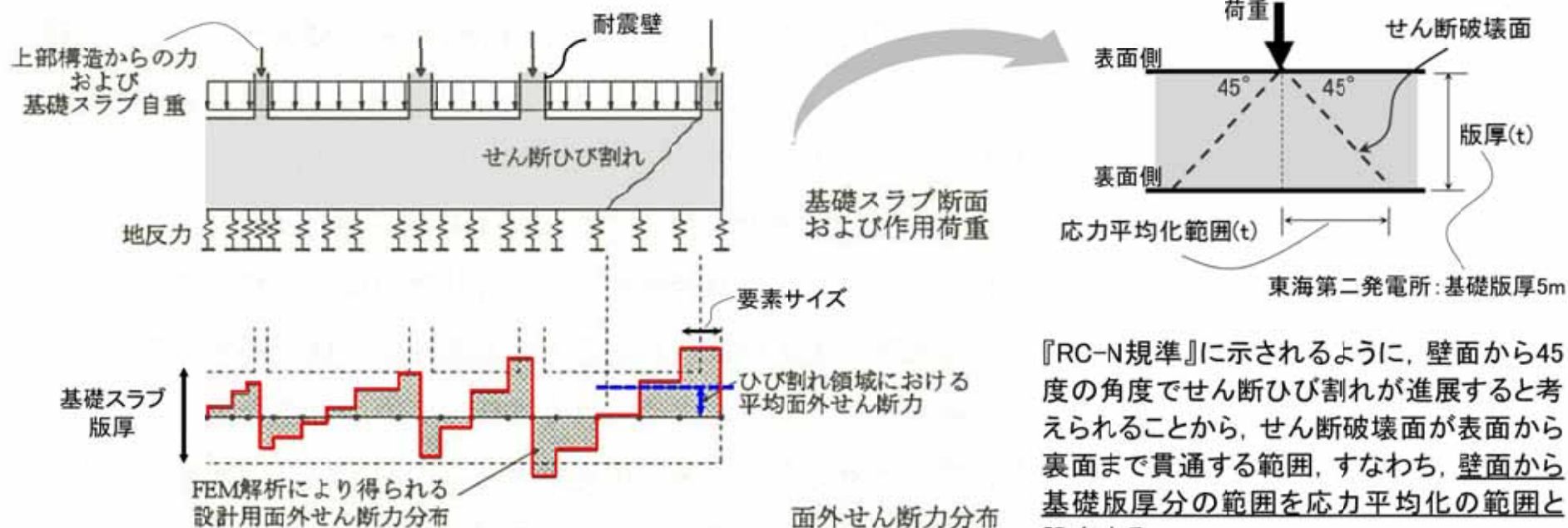
| 構造概要 | | 概略構造図 |
|---|----------------------------------|-------|
| 基礎・支持構造 | 主体構造 | |
| <p>胴を4個のラグで支持し、ラグをそれぞれ架台に取付ボルトで取り付ける。</p> | <p>水室, 管板, 胴を有するラグ支持たて置円筒形容器</p> | |

水圧制御ユニット

| 構造概要 | | 概略構造図 |
|---|--|-------|
| 基礎・支持構造 | 主体構造 | |
| <p>水圧制御ユニットのフレームは、十分剛な支持架構に取付ボルトにより固定されている。</p> | <p>配管ユニット、スクラム弁、セレクト弁、スクラムパイロット弁、端子箱、アキュムレータ、窒素容器、計装ユニット等の水圧制御ユニット構成部品がフレームに固定された構造。</p> | |

○ 応力平均化の考え方

『原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（(社)日本建築学会、2005）』（以下「RC-N規準」という。）では、基礎のような大断面を有する面材の面外せん断力について、『基礎スラブの設計用応力はFEM解析により算定し、断面設計はその要素応力を用いて行うことが一般的である。通常の場合、FEM解析の要素サイズは、基礎スラブ版厚より小さいため、付図2.2に模式的に示されるように設計用面外せん断力は想定されるひび割れ領域での平均面外せん断力に対して大きめの評価になっているといえる。また、基礎スラブにおいても、耐震壁と同様、面材における面外せん断力の再配分も期待できる。』とされている。



『RC-N規準』に示されるように、壁面から45度の角度でせん断ひび割れが進展すると考えられることから、せん断破壊面が表面から裏面まで貫通する範囲、すなわち、壁面から基礎版厚分の範囲を応力平均化の範囲と設定する。

付図2.2 床スラブにおける設計用面外せん断力（RC-N規準抜粋）